



がん診療連携拠点病院
データによる
高知県のがん登録集計
2010-2012

2015年2月

高知がん診療連携協議会がん登録部会

目次

はじめに	1
収集対象および集計方法	2
収集項目一覧	3

高知県全体集計

1. 登録数	5
2. 診断時住所の医療圏別割合	6
3. 年齢別登録割合	7
4. 症例区分	8
5. 来院経路	10
6. 発見経緯	12
7. 部位	14

部位別集計

胃	17
大腸	20
肝臓	23
肺	26
乳房	29
前立腺	32

施設情報

国立大学法人 高知大学医学部附属病院	35
高知県・高知市病院企業団立高知医療センター	36
日本赤十字社 高知赤十字病院	37
高知県立幡多けんみん病院	38

平成26年度 高知がん診療連携協議会	39
--------------------	----

はじめに

がんは1981年以降、我が国の死亡原因の第1位であり、高知県においても1984年以降、第1位となっています。がんの死亡率は欧米では減少していますが、わが国はまだ上昇しています。高齢化のさらなる進行が大きな原因の一つであると考えられ、今後も増加していくと推測されています。

2013年12月「がん登録等の推進に関する法律(がん登録推進法)」が成立し、今まで県単位など地域別に行われていたがん登録を、全国がん登録として国に集約してデータベース化することとなりました。これによって、がん登録の質の向上を促進すると同時に、がん予防の推進、がんに関する情報提供の充実、科学的知見に基づくがん対策の一層の充実につなげていくことが期待されています。実施に当たっては、地域がん登録と院内のがん登録の整合性など課題があるため準備期間を設けて、2016年1月症例からが予定されています。

高知県では、質の高いがん医療を受ける体制確保を目的とする「高知がん診療連携協議会」において、がん登録の推進を目的にがん登録部門が設置されました。2009年に高知県担当者と都道府県がん診療連携拠点病院である高知大学医学部附属病院、地域がん診療連携拠点病院である高知医療センター、高知赤十字病院をメンバーとした高知県がん登録ワーキンググループを発足させました。さらに2012年、新たに地域がん診療連携拠点病院に指定された高知県立幡多けんみん病院、がん診療連携推進病院である国立病院機構高知病院、二次医療圏においてがん診療の中核となる高知県立あき総合病院を加え、院内がん登録の標準化と登録精度を向上させ、高知県地域がん登録を充実させることを目的に、ワーキンググループから「がん登録部会」へと組織化されました。がん登録部会ではこれまで、県内のがん登録実務者に対して研修会を開催し、がん登録の体制の整備を行ってきました。

今回、がん診療連携拠点病院4施設における2010年から2012年の院内がん登録データの集計が整いましたのでここに報告させていただきます。ご協力いただきました医療機関をはじめご関係する皆さまに活用していただければ幸いです。

最後になりましたが、本資料作成にあたりご協力・ご指導いただきました各施設の皆さまに厚く御礼申し上げますとともに、高知県が目指す「健康長寿日本一」に向けて、今後も一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

高知がん診療連携協議会 会長
高知大学医学部附属病院 病院長
横山 彰 仁

収集対象および集計方法

- * 集計参加施設は、高知県のがん診療連携拠点病院4施設です。
2010年診断症例については、幡多けんみん病院を除く3施設の集計になります。
2010年から2012年診断症例集計結果は、2014年4月時点で各施設から提出されたデータを基にしております。
- * 収集項目は、「がん診療連携拠点病院院内がん登録標準様式登録項目とその定義2006年度修正版」において定義された標準項目としました。
- * 本資料は、高知県のがん診療連携拠点病院のデータをまとめたものですが、高知県の全患者を網羅しているものではありません。また、同一症例が複数施設で登録されている場合がありますので、解釈には注意をして下さい。
- * 2012年診断症例より UICC TNM分類 第7版を使用しています。
- * 各集計表において、集計値が4以下の場合、個人が特定される可能性が高いことから、値を伏せて -- (ハイフン) で表記しています。0件の場合は“0”と表記しています。
- * 本資料の、部位別（胃、大腸、肝臓、肺、乳房、前立腺）の集計は癌腫のみとし、肉腫、リンパ腫、カルチノイド等を除外し、以下のICD-O-3における形態コードを有するものを集計対象としました。
8051-8084, 8090-8110,
8120-8131, 8140-8149, 8160-8162, 8190-8221,
8260-8337, 8350-8551, 8570-8576, 8940-8941,
8030-8046, 8150-8157, 8170-8180, 8230-8231,
8246-8247, 8250-8255, 8340-8347, 8560-8562,
8580-8671,
8010-8015, 8020-8022, 8050,
8000-8005
- * 全国値として、「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 2012年全国集計 報告書」
国立がん研究センター がん対策情報センター
http://ganjoho.jp/professional/statistics/hosp_c_registry.html
を引用しています。

収集項目一覧

(がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式 登録項目の一部を収集)

項目番号	項目名	分類区分	説明
	調査指定年		
	提出項目パターン		
20	重複番号	1 第1がん 2 第2がん	自施設において診断した多重がんの有無を把握するためのコード
50	性別	1 男 2 女 9 不明	
60	生年月日	日付	
90	診断時都道府県コード	01 北海道～47 沖縄 88 その他(外国) 99 不詳	
100	診断時住所(詳細)	住所	
110	当該腫瘍初診日	日付	当該腫瘍の診断や治療のために、はじめて患者が自施設を受診した日 前医・他施設において、初回治療前の診断のため行った検査のうちがんと診断する根拠となった検査を行った日
130	診断日1(他施設診断日)	日付	自施設にて初回治療前の診断のため行った検査のうちがんと診断する根拠となった検査を行った日
140	診断日2(自施設診断日)	日付	診断・治療のため自施設を受診した経路(自施設に来るようになったきっかけ)
150	来院経路	0 自主紹介(1 他院より 2 がん検診 3 健康診断 4 人間ドック) 5 当該施設にて他疾患の経過観察中 6 剖検にて 8 その他 9 不明	
152	発見経緯	1 がん検診 2 健康診断・人間ドック 3 他疾患経過観察中(入院時ルーチン検査を含む) 4 剖検発見 9 その他・不明	当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目(医療機関に初めて来ることになったきっかけ)
160	診断区分(診断結果)	1 初発(治療開始前) 2 治療開始後 3 疑診	初発(治療開始前)、治療開始後を区別するための項目
161	診断施設	1 自施設診断 2 他施設診断	もともと確からしい検査(診断日)を決定する際に用いた診断根拠の重み付けをもとに判断)を行った施設を特定するための項目
170	治療方針	1 自施設で治療 3 自施設で経過観察 4 他院へ紹介 8 来院中断 9 不明	診断結果に基づいて、主治医と患者とが治療方針について話し合った後に、主治医から当該腫瘍に対する治療方針として指示された内容
180	症例区分	1 診断のみの症例 2 診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例 3 他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例 4 新発生初回治療開始後の継続治療の症例、もしくは、再発の症例 5 剖検による診断の症例 6 登録開始日以前の症例 8 その他	初回治療(登録施設での診断の有無)と初回治療(登録施設における初回治療の有無)の組み合わせにより患者を振り分けるための区分をコードする
200	診断名コード	ICD-O-3 局在 (T)コード4桁	がんの原発部位をコードする
210	診断名テキスト		
220	部位の側性	1 右側 2 左側 3 片側(左右の別不明) 4 両側 9 不明もしくは正中に位置する腫瘍 側性を有しない臓器は、空欄もしくは0	原発部位が左右一対臓器の場合にコードする
230	ステージ(治療前・UICC)	00 0期 10 I期 20 II期 30 III期 40 IV期 99 不明 空欄 対象外の臓器(UICC TNM悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)	UICCの取り決めに従い、診断時のT、N、M各区分に相当するステージを記録する。産婦人科領域では、TNMの替わりにFIGO分類が使われ、悪性リンパ腫については、TNM分類におけるAnn Arbor分類を用いる。
232	ステージ(治療前・取扱い規約)	00 0期 10 I期 20 II期 30 III期 40 IV期 99 不明 空欄 対象外の臓器(取扱い規約のない部位・臓器)	がん取り扱い規約の取り決めに従い、診断時のステージを記録する
240	治療前(TNM分類)(UICC) T分類	00 T0 01 Tis 10 T1 20 T2 30 T3 40 T4 99 TX, 不明 空欄 対象外の臓器(UICC TNM悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)	UICCの取り決めに従い、診断時のT分類を記録する
250	TNM分類(UICC) N分類	00 N0 10 N1 20 N2 30 N3 99 NX, 不明 空欄 対象外の臓器(UICC TNM悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)	UICCの取り決めに従い、診断時のN分類を記録する
260	TNM分類(UICC) M分類	00 M0 10 M1 99 MX, 不明 空欄 対象外の臓器(UICC TNM悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)	UICCの取り決めに従い、診断時のM分類を記録する

項目番号	項目名	分類区分	説明
270	ステージ (術後病理学的・UICC)	00 0期 10 I期 20 II期 30 III期 40 IV期 99 不明 80 術前治療後 空欄 対象外の臓器 (UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)	UICCの取り決めに従い、診断時のpT、pN、pM各区分に相当するステージを記録する。産婦人科領域では、TNMの替わりにFIGO分類が使われ、悪性リンパ腫については、TNM分類におけるAnn Arbor分類を用いる。
280	術後 病理学的	00 pT0 01 pTis 10 pT1 20 pT2 30 pT3 40 pT4 99 pTx, 不明 空欄 対象外の臓器 (UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)	UICCの取り決めに従い、診断時のpT分類を記録する
290	pTNM分類 (UICC) pT分類	00 pN0 10 pN1 20 pN2 30 pN3 99 pNx, 不明 80 術前治療後 空欄 対象外の臓器 (UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)	UICCの取り決めに従い、診断時のpN分類を記録する
300	pTNM分類 (UICC) pM分類	00 pM0 10 pM1 99 pMx, 不明 80 術前治療後 空欄 対象外の臓器 (UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第6版に記載のない部位・臓器)	UICCの取り決めに従い、診断時のpM分類を記録する
310	進展度 (治療前)	0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移あり 3 隣接臓器への浸潤あり 4 遠隔転移あり 9 不明	TNMによる病期分類は時系列的な比較が困難な場合が多いが、進展度は地域がん登録で採用されてきた分類方法であり、趨勢変化や施設間での比較に使いやすい
320	進展度 (術後病理学的)	0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移あり 3 隣接臓器への浸潤あり 4 遠隔転移あり 9 不明 8 術後病理学的進行度の適応外	手術摘出検体をもとに行われた病理組織学的診断により判断される
330	組織診断名コード	ICD-O-3 形態 (M) コード 6桁	
340	組織診断名テキスト		
350	診断根拠	1 組織診陽性 2 細胞診陽性 3 病理学的検査による診断 4 病理学的検査以外の検体検査による診断 5 がん病真像下の肉眼所見による診断 6 放射線画像診断 7 臨床診断のみ 9 不明 もしくは、病理学的検査による診断の不明	当該腫瘍が悪性腫瘍であること、その原発部位ならびに病理組織の確定に際し、最も寄与した情報について区分する。
351	病理組織標本由来	1 原発巣 2 転移巣 3 該当無し (診断根拠が病理学的検査でないとき：診断根拠 4～9 に対応) 9 不明	組織学的検査陽性 (病理組織診断によるがんの診断) において、病理組織学的診断が行われた組織標本の由来をコードする
460	外科的治療の有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療における、外科的治療の有無を記載する。根治的治療以外の緩和療法等を含む。
480	体腔鏡的治療の有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療における、体腔鏡的治療の有無を記載する。根治的治療以外の緩和療法等を含む。
500	内視鏡的治療の有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療における、内視鏡的治療の有無を記載する。根治的治療以外の緩和療法等を含む。
520	外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果	1 原発巣-治療切除 2 原発巣-非治療切除 3 原発巣-治療/非治療の別不詳 4 姑息/対症治療、転移巣切除 8 その他 9 不詳	当該のがんに対する外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度をコードする。初回治療として行った総合的な結果を記載する。
550	放射線治療の有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療における放射線治療の有無を記載する。根治的治療以外の緩和療法等を含む。
560	化学療法の有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療における化学療法の有無を記載する。根治的治療以外の緩和療法等を含む。
570	免疫療法・BRMの有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療における免疫療法・BRMの有無を記載する。
580	内分泌療法の有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療における内分泌療法の有無を記載する。
590	TAEの有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療におけるTAE (肝動脈塞栓術)の有無を記載する。
600	PEITの有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療におけるPEIT (経皮的エタノール注入療法)の有無を記載する。
610	温熱療法の有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療における温熱療法の有無を記載する。
620	レーザー等治療(焼灼)の有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療におけるレーザー等治療(焼灼)の有無を記載する。
629	その他の治療の有無	1 有 2 無 9 不明	施設での初回治療における上記以外の有無を記載する。

高知県全体集計

(がん診療連携拠点病院 4施設)

1. 登録数

高知県の拠点病院における2010年、2011年、2012年の登録数の合計は12,061件でしたが、うち1件は項目不足にて集計対象外としました。登録数は2010年3,278件、2011年4,188件、2012年4,594件と増加しています。2012年以降については、「胃腸管間質腫瘍（GIST）の良性悪性の別不詳」のものも登録対象になっています。

本資料では、症例区分8（その他）は、セカンドオピニオンのみ症例を任意に登録する際の区分になっているなどの理由で、この区分を含めて集計を行うと施設間の比較可能性が損なわれるという判断から、基本的な集計対象から除外しています。また、各施設における登録対象は、登録を実施する自施設での新規の診断患者または他施設で診断された初診患者であり、初発例、再発例を共に含み、治療を行わない経過観察例も含まれます。

登録済みの初発がんが当該施設で治療中に再発した患者については登録対象ではありませんが、同じ患者が同じがんで複数のがん診療連携拠点病院を受診した場合は、施設ごとに登録されている可能性があります。そのため、主な集計では症例区分2（自施設診断/自施設初回治療）と3（他施設診断/自施設初回治療）を集計対象としました（収集項目一覧 項目番号180を参照）。

◇登録件数

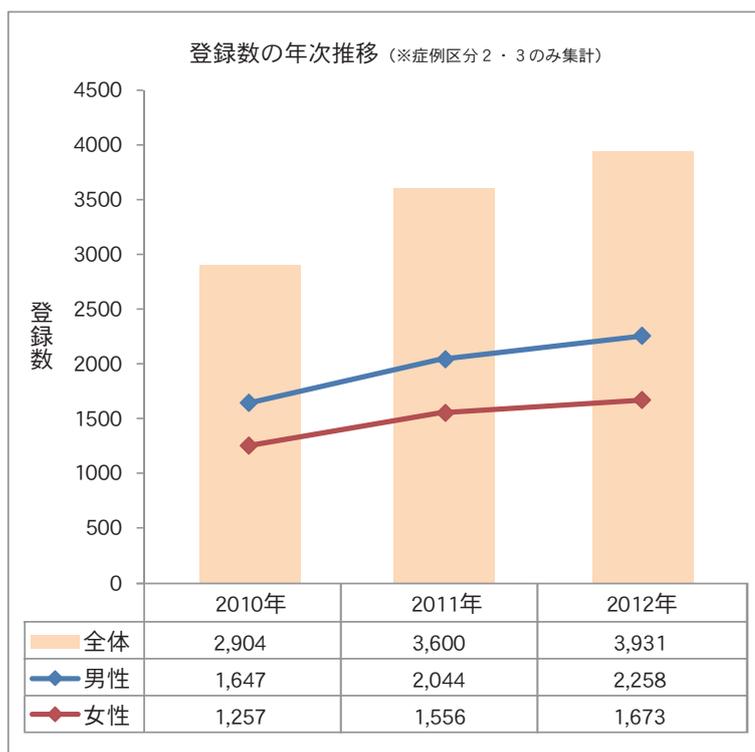
診断年	男性	女性	全体
2010年	1,833	1,445	3,278
2011年	2,347	1,841	4,188
2012年	2,594	2,000	4,594
合計	6,774	5,286	12,060

◇症例区分「8. その他」を除いて集計

診断年	男性	女性	全体
2010年	1,825	1,439	3,264
2011年	2,342	1,833	4,175
2012年	2,582	1,997	4,579
合計	6,749	5,269	12,018

◇症例区分2・3のみを集計

診断年	男性	女性	全体
2010年	1,647	1,257	2,904
2011年	2,044	1,556	3,600
2012年	2,258	1,673	3,931
合計	5,949	4,486	10,435



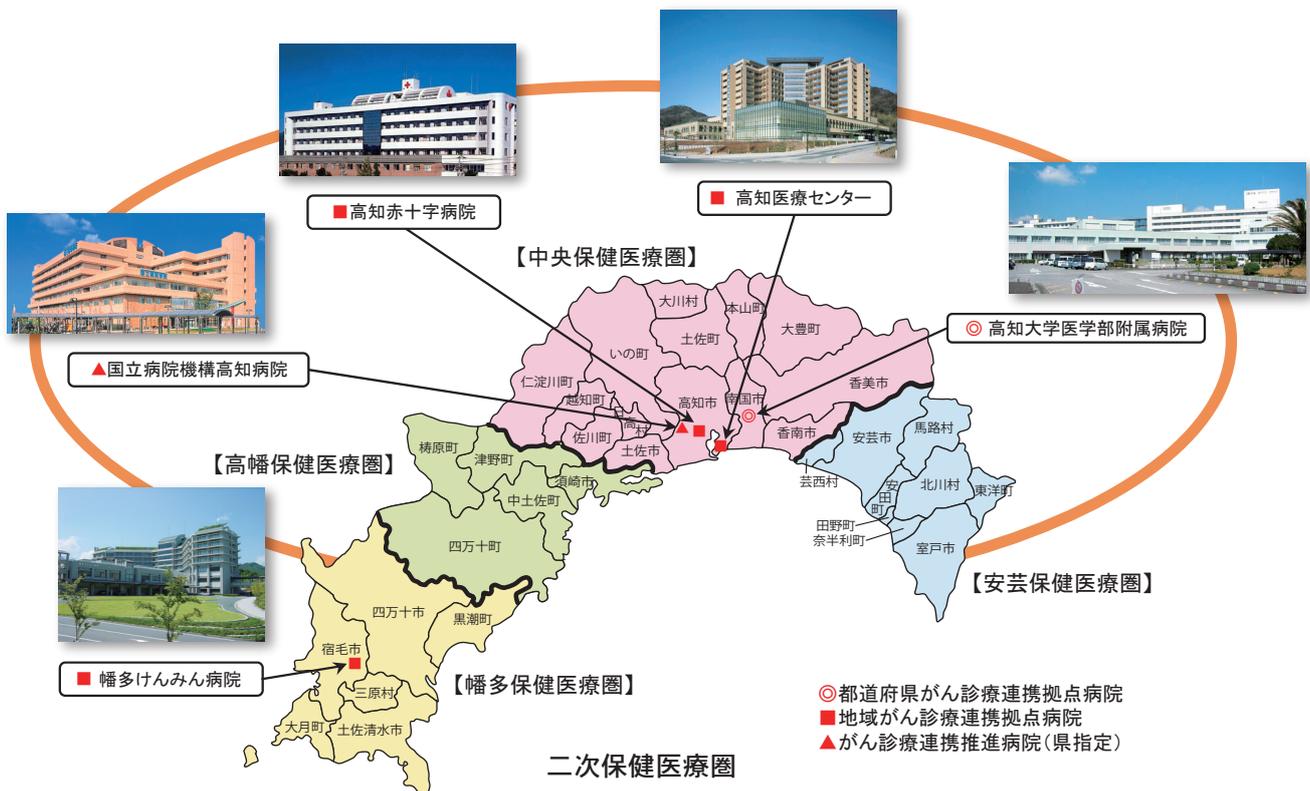
集計参加施設 高知県がん診療連携拠点病院

医療機関名	所在地 (医療圏)	がん診療連携拠点病院 指定日	2010年 診断症例 全登録件数	2011年 診断症例 全登録件数	2012年 診断症例 全登録件数
高知大学医学部附属病院	中央	2006年 8 月 24 日	1,573	1,551	1,650
高知医療センター	中央	2008年 2 月 8 日	967	1,336	1,391
高知赤十字病院	中央	2008年 2 月 8 日	739	801	805
幡多けんみん病院	幡多	2012年 4 月 1 日	—	500	748

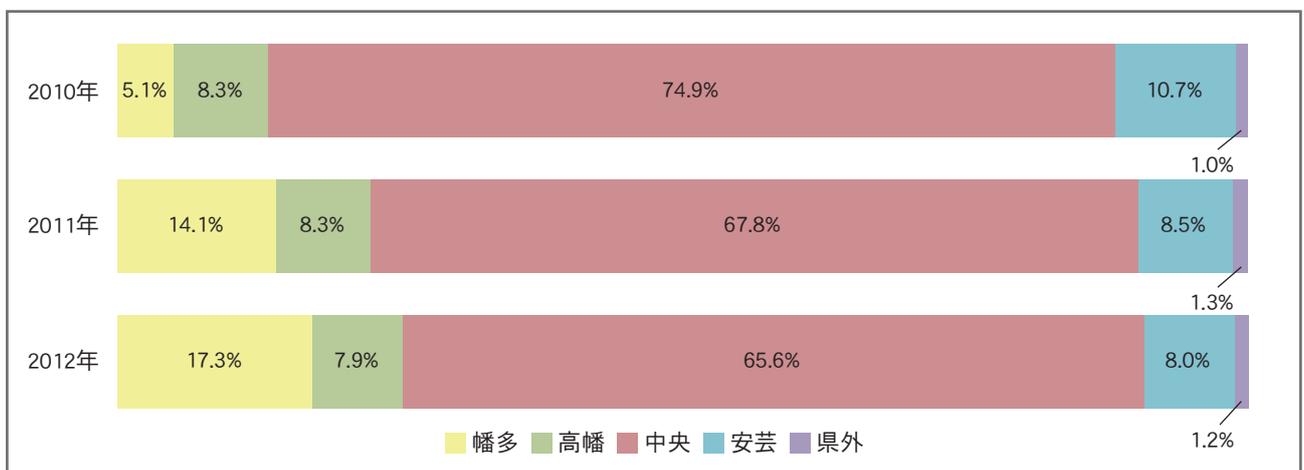
2. 診断時住所の医療圏別割合

※症例区分2・3のみを集計

中央保健医療圏には都道府県がん診療連携拠点病院である高知大学医学部附属病院、地域がん診療連携拠点病院の指定を受けている高知医療センターと高知赤十字病院、また県指定のがん診療連携推進病院である国立病院機構高知病院があります。幡多保健医療圏には、地域がん診療連携拠点病院である高知県立幡多けんみん病院があります。



医療圏	幡多		高幡		中央		安芸		県外		総計 件数
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	
2010年	148	(5.1%)	241	(8.3%)	2,174	(74.9%)	311	(10.7%)	30	(1.0%)	2,904
2011年	508	(14.1%)	300	(8.3%)	2,439	(67.8%)	306	(8.5%)	47	(1.3%)	3,600
2012年	681	(17.3%)	312	(7.9%)	2,577	(65.6%)	315	(8.0%)	46	(1.2%)	3,931



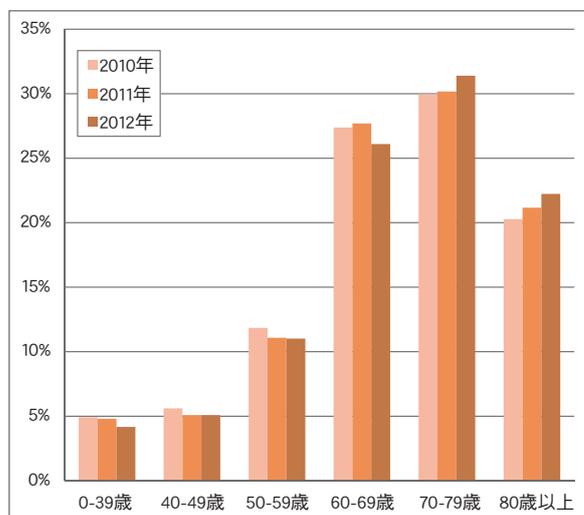
※2010年診断症例については、幡多けんみん病院を除く3施設の集計となります。

3. 年齢別登録割合

※症例区分2・3のみを集計

3年間で年齢階級別登録割合の大きな変動はありませんが、登録患者の平均年齢について2010年は67.7歳、2011年は68.2歳、2012年は68.7歳で、この3年間で少しずつ高くなってきている傾向があります。また、登録割合の約50%を70歳以上が占めています。

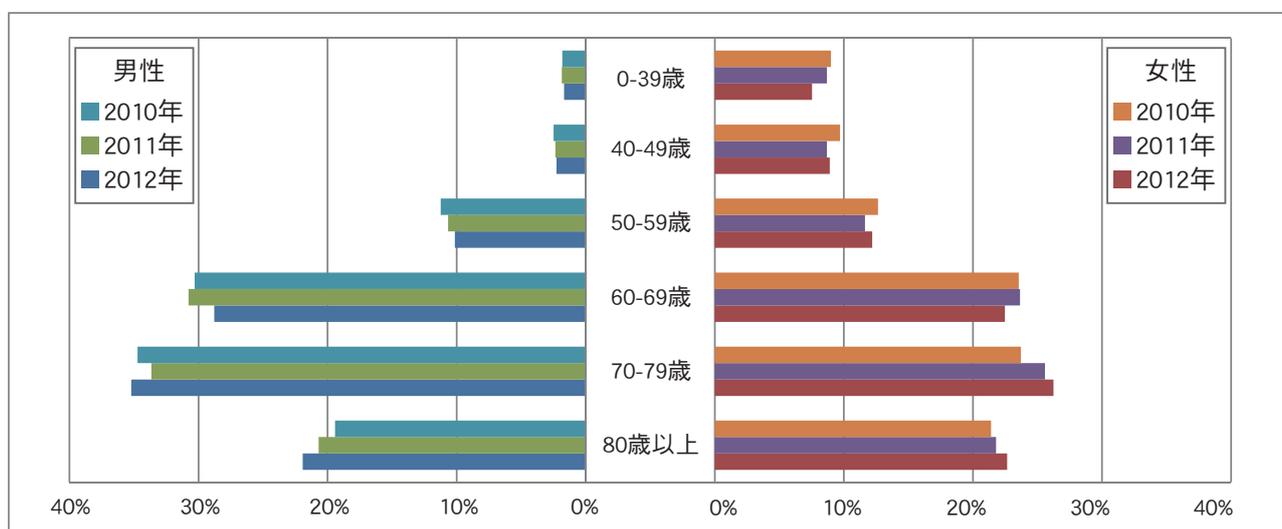
性別にみると、男女とも70歳代の登録割合が最も大きくなっていますが、女性では、男性に比べて50歳未満の登録割合が大きいことが分かります。



全体	2010年		2011年		2012年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	143	(4.9%)	173	(4.8%)	164	(4.2%)
40-49歳	163	(5.6%)	183	(5.1%)	200	(5.1%)
50-59歳	344	(11.8%)	399	(11.1%)	433	(11.0%)
60-69歳	795	(27.4%)	997	(27.7%)	1,026	(26.1%)
70-79歳	870	(30.0%)	1,086	(30.2%)	1,234	(31.4%)
80歳以上	589	(20.3%)	762	(21.2%)	874	(22.2%)

男性	2010年		2011年		2012年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	30	(1.8%)	38	(1.9%)	38	(1.7%)
40-49歳	41	(2.5%)	48	(2.3%)	51	(2.3%)
50-59歳	185	(11.2%)	218	(10.7%)	229	(10.1%)
60-69歳	499	(30.3%)	629	(30.8%)	650	(28.8%)
70-79歳	572	(34.7%)	688	(33.7%)	795	(35.2%)
80歳以上	320	(19.4%)	423	(20.7%)	495	(21.9%)

女性	2010年		2011年		2012年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	113	(9.0%)	135	(8.7%)	126	(7.5%)
40-49歳	122	(9.7%)	135	(8.7%)	149	(8.9%)
50-59歳	159	(12.6%)	181	(11.6%)	204	(12.2%)
60-69歳	296	(23.5%)	368	(23.7%)	376	(22.5%)
70-79歳	298	(23.7%)	398	(25.6%)	439	(26.2%)
80歳以上	269	(21.4%)	339	(21.8%)	379	(22.7%)



4. 症例区分

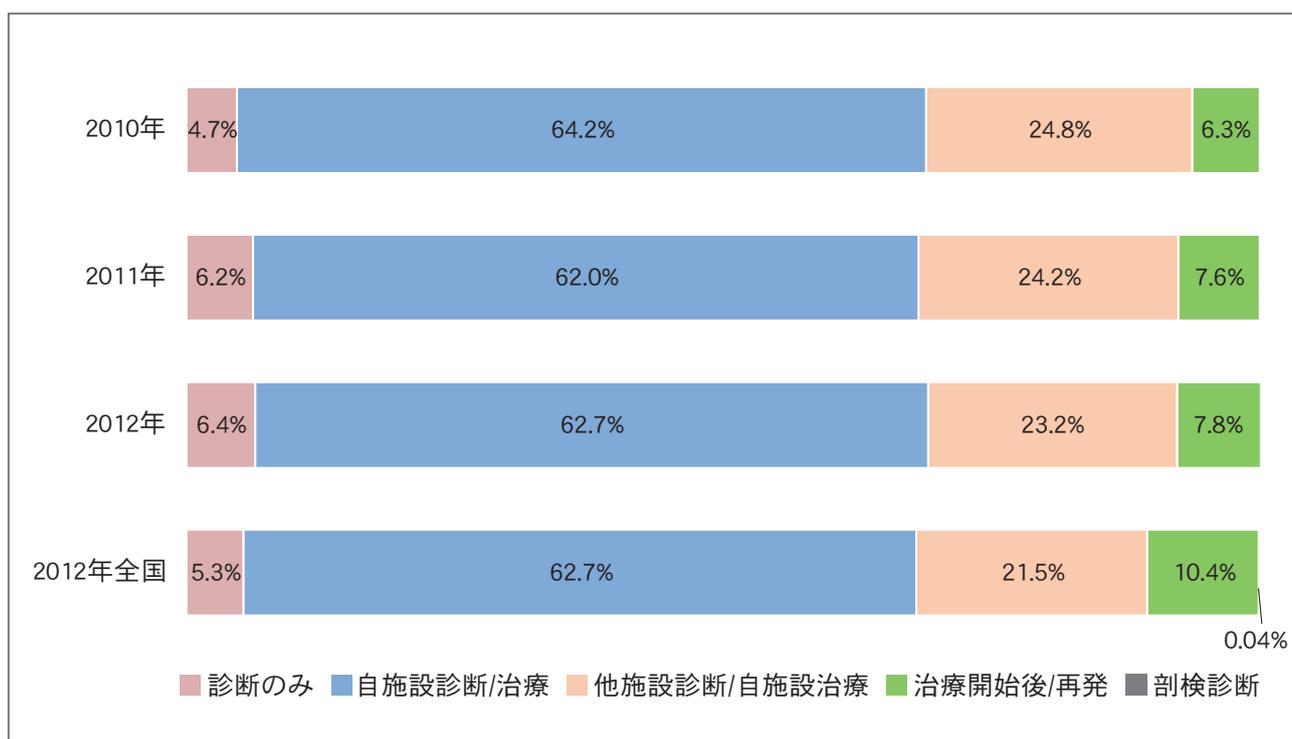
※症例区分8を除いた集計

症例区分は、がん診療連携拠点病院が、がんの診断から再発治療までの一連の流れの中で、主にどのような役割を果たしているかを推察するための項目の一つです。

全体では症例区分2（自施設診断/自施設初回治療）と3（他施設診断/自施設初回治療）の割合が、2010年は89%、2011年は86.2%、2012年は85.9%であり、登録症例のほとんどが自施設で初回治療が行われた症例であることを意味しています。

4-1. 症例区分

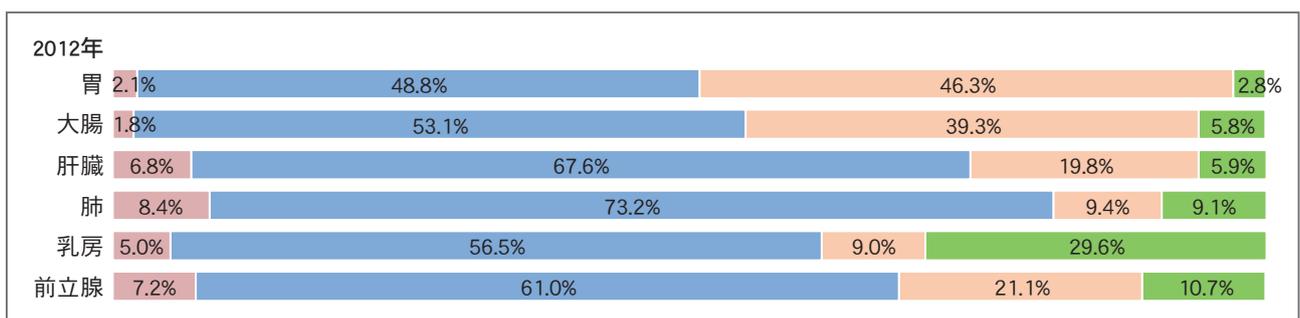
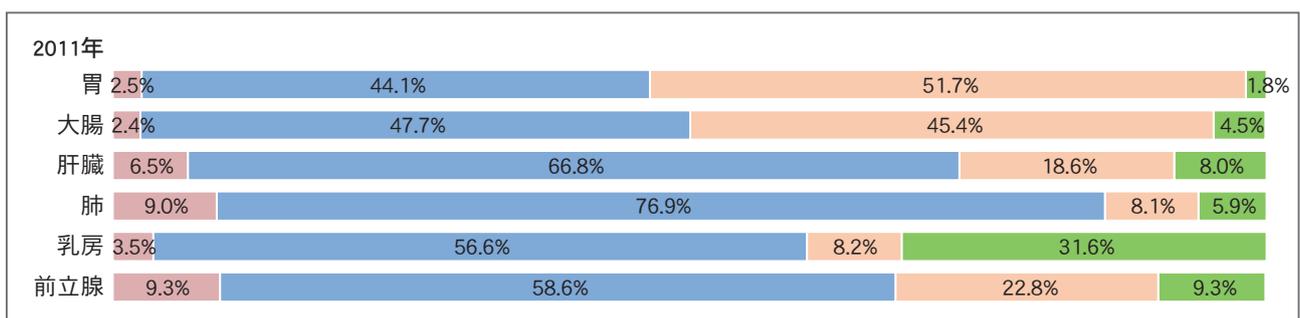
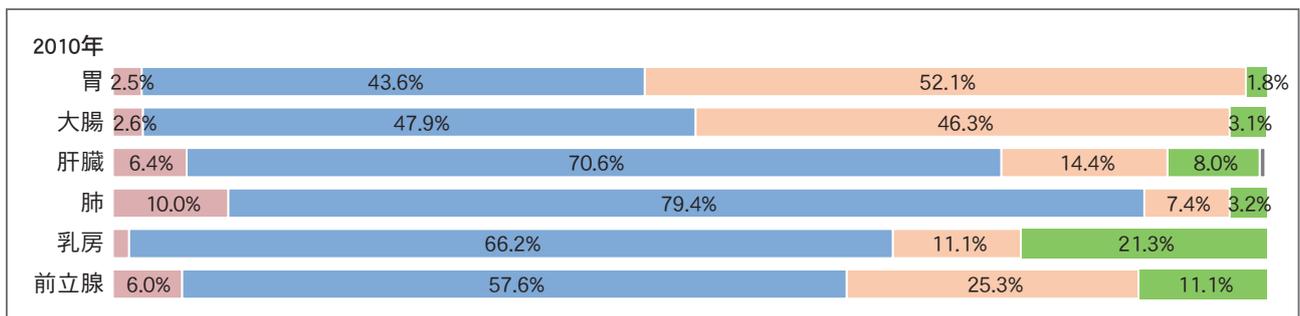
	診断のみ		自施設診断/治療		他施設診断/ 自施設治療		治療開始後/再発		剖検診断		総計 件数
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	
2010年	154	(4.7%)	2,095	(64.2%)	809	(24.8%)	205	(6.3%)	--	--	3,264
2011年	259	(6.2%)	2,588	(62.0%)	1,012	(24.2%)	316	(7.6%)	0	(0.0%)	4,175
2012年	291	(6.4%)	2,870	(62.7%)	1,061	(23.2%)	357	(7.8%)	0	(0.0%)	4,579
2012年全国	31,501	(5.3%)	370,625	(62.7%)	127,100	(21.5%)	61,410	(10.4%)	220	(0.04%)	590,856



4-2. 症例区分 部位別

		診断のみ		自施設診断/治療		他施設診断/ 自施設治療		治療開始後/再発		剖検診断		総計 件数
		件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	
胃	2010年	11	(2.5%)	191	(43.6%)	228	(52.1%)	8	(1.8%)	0	(0.0%)	438
	2011年	14	(2.5%)	250	(44.1%)	293	(51.7%)	10	(1.8%)	0	(0.0%)	567
	2012年	14	(2.1%)	329	(48.8%)	312	(46.3%)	19	(2.8%)	0	(0.0%)	674
大腸	2010年	10	(2.6%)	183	(47.9%)	177	(46.3%)	12	(3.1%)	0	(0.0%)	382
	2011年	13	(2.4%)	263	(47.7%)	250	(45.4%)	25	(4.5%)	0	(0.0%)	551
	2012年	11	(1.8%)	327	(53.1%)	242	(39.3%)	36	(5.8%)	0	(0.0%)	616
肝臓	2010年	12	(6.4%)	132	(70.6%)	27	(14.4%)	15	(8.0%)	--	--	187
	2011年	13	(6.5%)	133	(66.8%)	37	(18.6%)	16	(8.0%)	0	(0.0%)	199
	2012年	15	(6.8%)	150	(67.6%)	44	(19.8%)	13	(5.9%)	0	(0.0%)	222
肺	2010年	34	(10.0%)	270	(79.4%)	25	(7.4%)	11	(3.2%)	0	(0.0%)	340
	2011年	40	(9.0%)	340	(76.9%)	36	(8.1%)	26	(5.9%)	0	(0.0%)	442
	2012年	34	(8.4%)	297	(73.2%)	38	(9.4%)	37	(9.1%)	0	(0.0%)	406
乳房	2010年	--	--	196	(66.2%)	33	(11.1%)	63	(21.3%)	0	(0.0%)	296
	2011年	11	(3.5%)	179	(56.6%)	26	(8.2%)	100	(31.6%)	0	(0.0%)	316
	2012年	19	(5.0%)	214	(56.5%)	34	(9.0%)	112	(29.6%)	0	(0.0%)	379
前立腺	2010年	13	(6.0%)	125	(57.6%)	55	(25.3%)	24	(11.1%)	0	(0.0%)	217
	2011年	28	(9.3%)	177	(58.6%)	69	(22.8%)	28	(9.3%)	0	(0.0%)	302
	2012年	25	(7.2%)	211	(61.0%)	73	(21.1%)	37	(10.7%)	0	(0.0%)	346

※大腸は結腸と直腸の合計



■ 診断のみ ■ 自施設診断/治療 ■ 他施設診断/自施設治療 ■ 治療開始後/再発 ■ 剖検診断

5. 来院経路

※症例区分2・3のみを集計

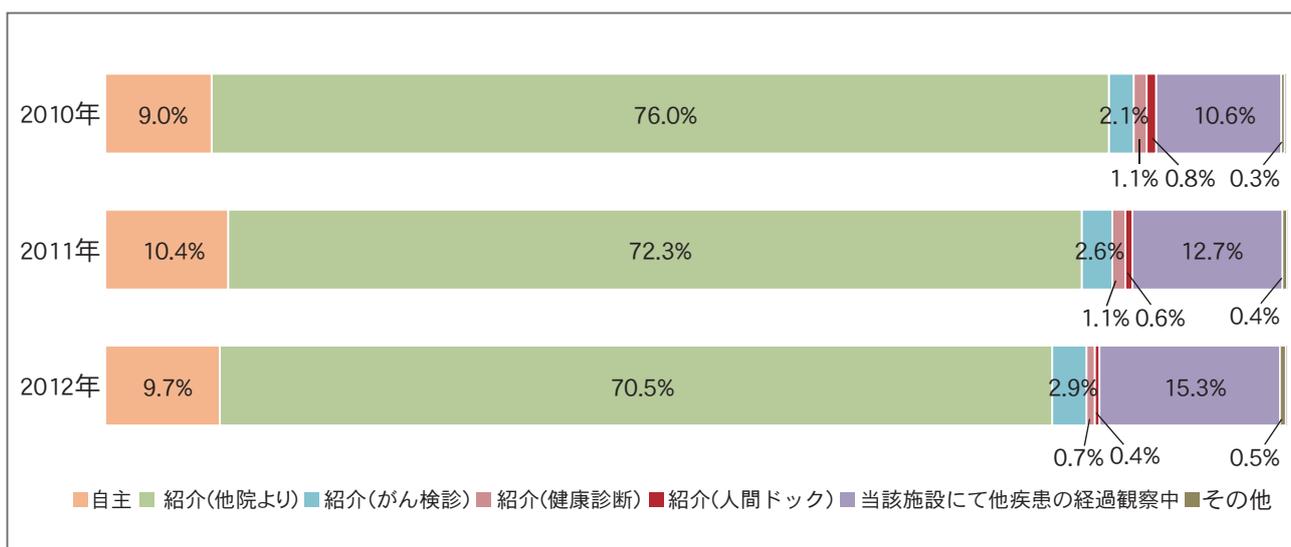
来院経路は、患者がどのような経路を経て自施設を受診したかを把握し、拠点病院が地域においてどのような機能を担っているのかを、他の医療機関との関係から推察する項目です。

全体では他院からの紹介により受診した割合が最も大きく、2010年は76%、2011年は72.3%、2012年は70.5%となっています。

部位別では、自主来院の割合が乳房で最も高く、肝臓、肺では低い傾向にあります。

5-1. 来院経路

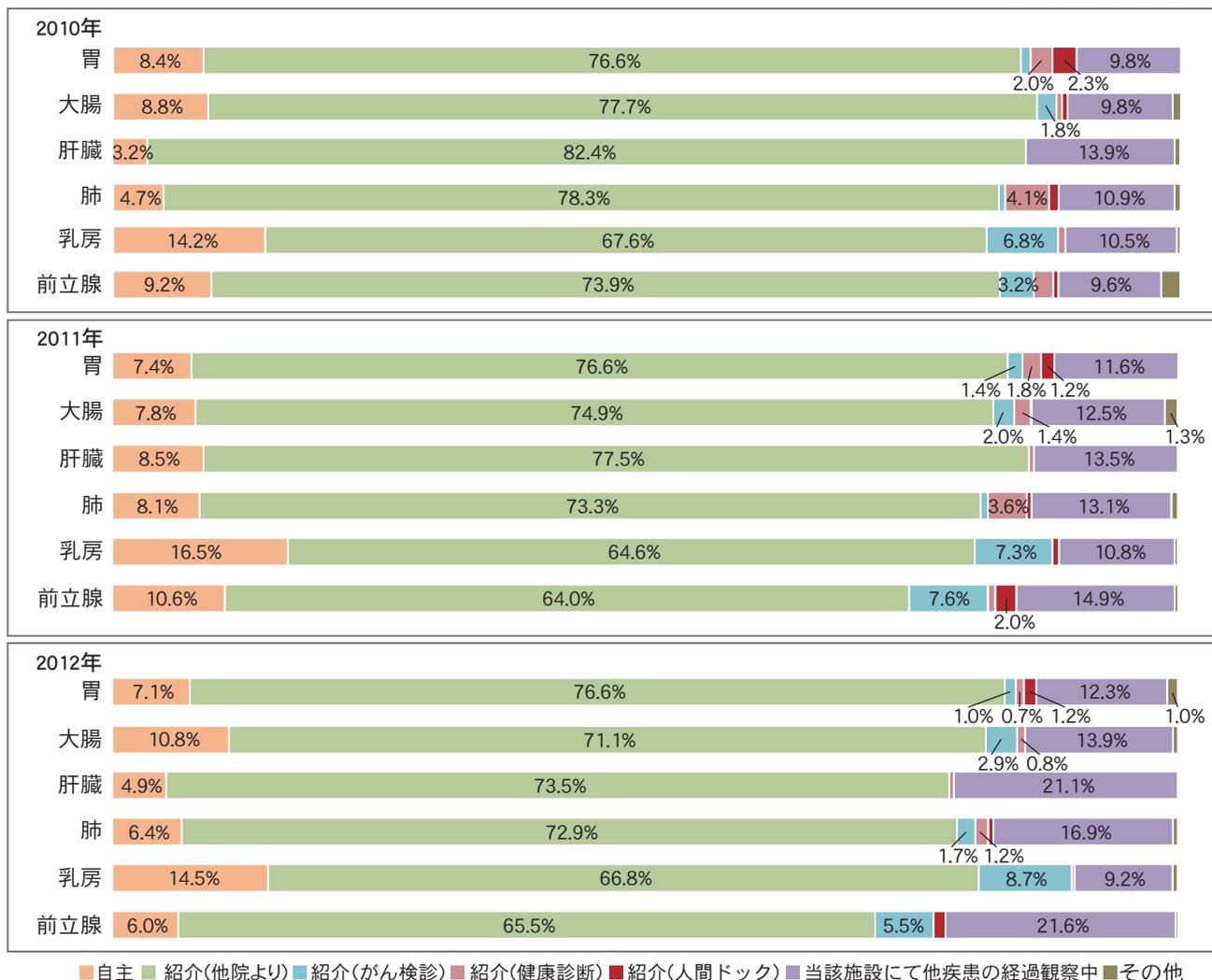
	自主	紹介 (他院より)	紹介 (がん検診)	紹介 (健康診断)	紹介 (人間ドック)	当該施設にて他疾患の 経過観察中	剖検にて	その他	総計
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数
2010年	260 (9.0%)	2,207 (76.0%)	62 (2.1%)	33 (1.1%)	24 (0.8%)	308 (10.6%)	0 (0.0%)	10 (0.3%)	2,904
2011年	373 (10.4%)	2,602 (72.3%)	94 (2.6%)	41 (1.1%)	20 (0.6%)	457 (12.7%)	0 (0.0%)	13 (0.4%)	3,600
2012年	383 (9.7%)	2,772 (70.5%)	113 (2.9%)	27 (0.7%)	15 (0.4%)	602 (15.3%)	0 (0.0%)	19 (0.5%)	3,931



5-2. 来院経路 部位別

		自主	紹介 (他院より)	紹介 (がん検診)	紹介 (健康診断)	紹介 (人間ドック)	当該施設にて他疾患の経過観察中	剖検にて	その他	総計
		件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数
胃	2010年	37 (8.4%)	337(76.6%)	-- --	9(2.0%)	10(2.3%)	43 (9.8%)	0(0.0%)	0(0.0%)	440
	2011年	42 (7.4%)	435(76.6%)	8(1.4%)	10(1.8%)	7(1.2%)	66(11.6%)	0(0.0%)	0(0.0%)	568
	2012年	48 (7.1%)	517(76.6%)	7(1.0%)	5(0.7%)	8(1.2%)	83(12.3%)	0(0.0%)	7(1.0%)	675
大腸	2010年	34 (8.8%)	300(77.7%)	7(1.8%)	-- --	-- --	38 (9.8%)	0(0.0%)	---	386
	2011年	43 (7.8%)	414(74.9%)	11(2.0%)	8(1.4%)	-- --	69(12.5%)	0(0.0%)	7(1.3%)	553
	2012年	67(10.8%)	440(71.1%)	18(2.9%)	5(0.8%)	0(0.0%)	86(13.9%)	0(0.0%)	---	619
肝臓	2010年	6 (3.2%)	154(82.4%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	26(13.9%)	-- --	0(0.0%)	187
	2011年	17 (8.5%)	155(77.5%)	0(0.0%)	-- --	0(0.0%)	27(13.5%)	0(0.0%)	0(0.0%)	200
	2012年	11 (4.9%)	164(73.5%)	0(0.0%)	-- --	0(0.0%)	47(21.1%)	0(0.0%)	0(0.0%)	223
肺	2010年	16 (4.7%)	267(78.3%)	-- --	14(4.1%)	-- --	37(10.9%)	0(0.0%)	---	341
	2011年	36 (8.1%)	324(73.3%)	-- --	16(3.6%)	-- --	58(13.1%)	-- --	---	442
	2012年	26 (6.4%)	298(72.9%)	7(1.7%)	5(1.2%)	-- --	69(16.9%)	0(0.0%)	---	409
乳房	2010年	42(14.2%)	200(67.6%)	20(6.8%)	-- --	0(0.0%)	31(10.5%)	0(0.0%)	---	296
	2011年	52(16.5%)	204(64.6%)	23(7.3%)	0(0.0%)	-- --	34(10.8%)	0(0.0%)	---	316
	2012年	55(14.5%)	253(66.8%)	33(8.7%)	-- --	0(0.0%)	35 (9.2%)	0(0.0%)	---	379
前立腺	2010年	20 (9.2%)	161(73.9%)	7(3.2%)	-- --	-- --	21 (9.6%)	0(0.0%)	---	218
	2011年	32(10.6%)	194(64.0%)	23(7.6%)	-- --	6(2.0%)	45(14.9%)	0(0.0%)	---	303
	2012年	21 (6.0%)	228(65.5%)	19(5.5%)	0(0.0%)	-- --	75(21.6%)	0(0.0%)	---	348

※大腸は結腸と直腸の合計



6. 発見経緯

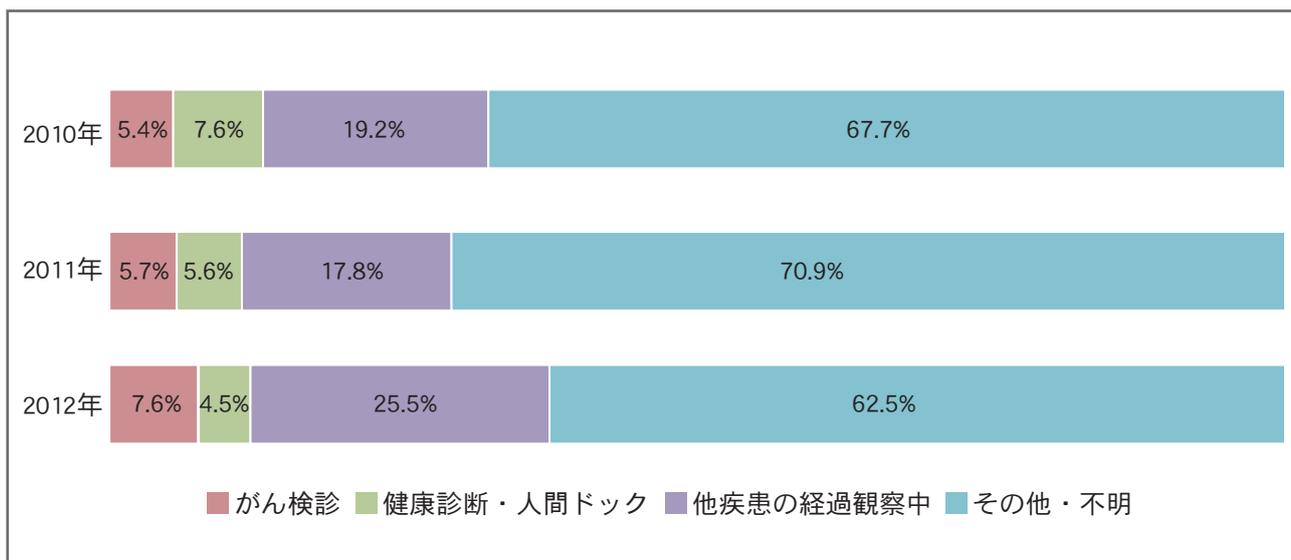
※症例区分2・3のみを集計

発見経緯は、来院経路とは異なり、当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目です。全体では、発見経緯「がん検診・健康診断・人間ドック」の登録患者の割合は、2010年は13%、2011年は11.3%、2012年は12.1%であり、2012年の全国の都道府県別平均15.9%と比べ低い傾向にあります。

部位別では、がん検診・健康診断・人間ドックの割合が胃・肺・乳房・前立腺で高く、他疾患の経過観察中の割合は肝臓で高くなっています。

6-1. 発見経緯

	がん検診	健康診断・人間ドック	他疾患の経過観察中	剖検発見	その他・不明	総計
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数
2010年	158 (5.4%)	222 (7.6%)	559 (19.2%)	0 (0.0%)	1,965 (67.7%)	2,904
2011年	206 (5.7%)	201 (5.6%)	641 (17.8%)	0 (0.0%)	2,552 (70.9%)	3,600
2012年	297 (7.6%)	175 (4.5%)	1,002 (25.5%)	0 (0.0%)	2,457 (62.5%)	3,931



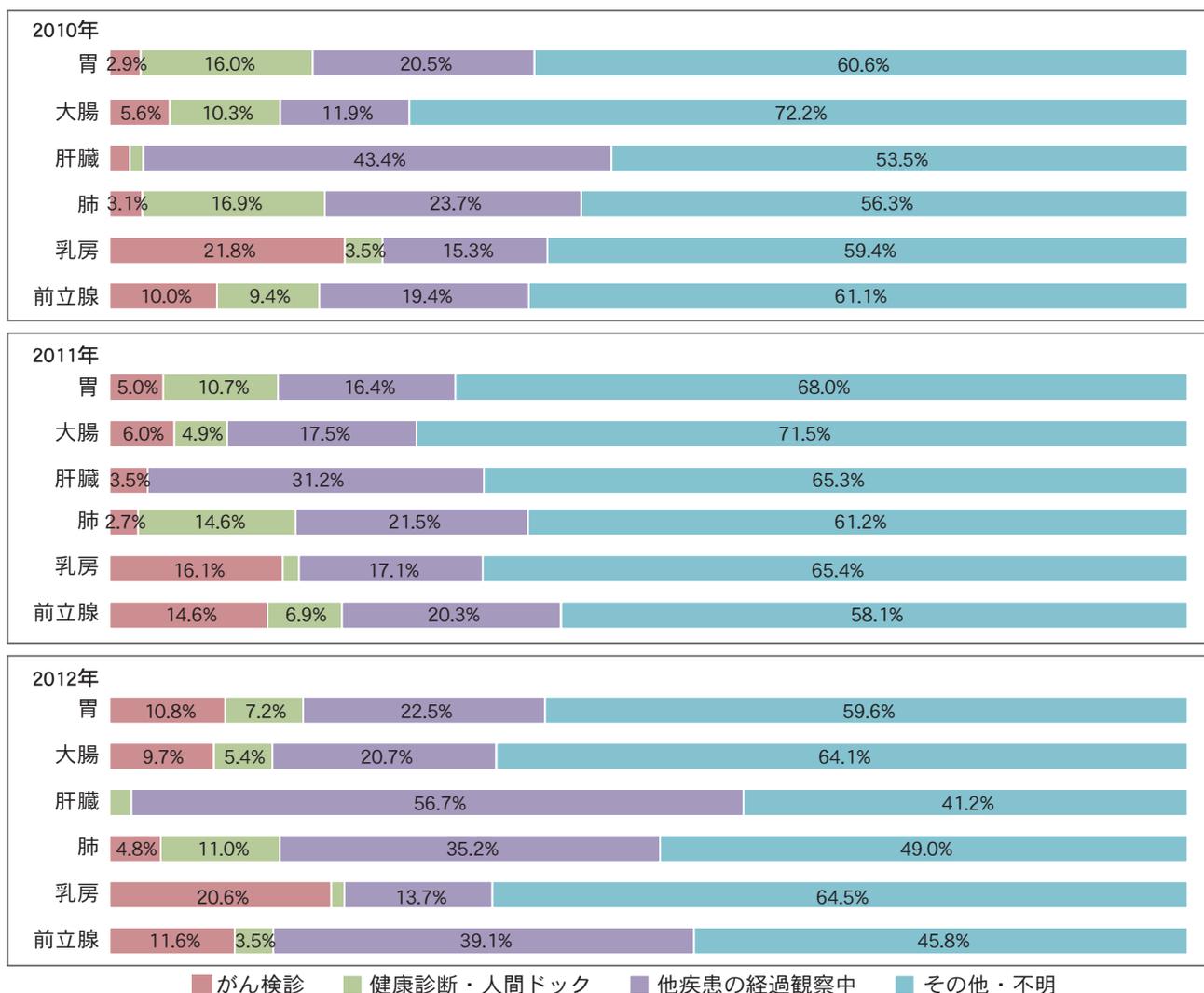
※「がん検診・健康診断・人間ドック」の登録患者の割合

	高知	都道府県別 (平均)
2010年	13.0%	15.7%
2011年	11.3%	15.6%
2012年	12.1%	15.9%

6-2. 発見経緯 部位別

		がん検診	健康診断・ 人間ドック	他疾患の 経過観察中	剖検発見	その他・不明	総計
		件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数
胃	2010年	12 (2.9%)	67 (16.0%)	86 (20.5%)	0 (0.0%)	254 (60.6%)	419
	2011年	27 (5.0%)	58 (10.7%)	89 (16.4%)	0 (0.0%)	369 (68.0%)	543
	2012年	69 (10.8%)	46 (7.2%)	144 (22.5%)	0 (0.0%)	382 (59.6%)	641
大腸	2010年	20 (5.6%)	37 (10.3%)	43 (11.9%)	0 (0.0%)	260 (72.2%)	360
	2011年	31 (6.0%)	25 (4.9%)	90 (17.5%)	0 (0.0%)	367 (71.5%)	513
	2012年	55 (9.7%)	31 (5.4%)	118 (20.7%)	0 (0.0%)	365 (64.1%)	569
肝臓	2010年	-- --	-- --	69 (43.4%)	0 (0.0%)	85 (53.5%)	159
	2011年	0 (0.0%)	6 (3.5%)	53 (31.2%)	0 (0.0%)	111 (65.3%)	170
	2012年	0 (0.0%)	-- --	110 (56.7%)	0 (0.0%)	80 (41.2%)	194
肺	2010年	9 (3.1%)	50 (16.9%)	70 (23.7%)	0 (0.0%)	166 (56.3%)	295
	2011年	10 (2.7%)	55 (14.6%)	81 (21.5%)	0 (0.0%)	230 (61.2%)	376
	2012年	16 (4.8%)	37 (11.0%)	118 (35.2%)	0 (0.0%)	164 (49.0%)	335
乳房	2010年	50 (21.8%)	8 (3.5%)	35 (15.3%)	0 (0.0%)	136 (59.4%)	229
	2011年	33 (16.1%)	-- --	35 (17.1%)	0 (0.0%)	134 (65.4%)	205
	2012年	51 (20.6%)	-- --	34 (13.7%)	0 (0.0%)	160 (64.5%)	248
前立腺	2010年	18 (10.0%)	17 (9.4%)	35 (19.4%)	0 (0.0%)	110 (61.1%)	180
	2011年	36 (14.6%)	17 (6.9%)	50 (20.3%)	0 (0.0%)	143 (58.1%)	246
	2012年	33 (11.6%)	10 (3.5%)	111 (39.1%)	0 (0.0%)	130 (45.8%)	284

※大腸は結腸と直腸の合計



7. 部位

※症例区分2・3のみを集計

7-1. 部位別登録数と割合

診断年	2010年		2011年		2012年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
口腔・咽頭	106	(3.7%)	130	(3.6%)	110	(2.8%)
食道	119	(4.1%)	111	(3.1%)	127	(3.2%)
胃	419	(14.4%)	543	(15.1%)	641	(16.3%)
結腸	197	(6.8%)	319	(8.9%)	368	(9.4%)
直腸	163	(5.6%)	194	(5.4%)	201	(5.1%)
肝臓	159	(5.5%)	170	(4.7%)	194	(4.9%)
胆嚢・胆管	59	(2.0%)	95	(2.6%)	87	(2.2%)
膵臓	92	(3.2%)	121	(3.4%)	148	(3.8%)
喉頭	28	(1.0%)	46	(1.3%)	46	(1.2%)
肺	295	(10.2%)	376	(10.4%)	335	(8.5%)
骨・軟部	16	(0.6%)	20	(0.6%)	18	(0.5%)
皮膚(黒色腫を含む)	129	(4.4%)	124	(3.4%)	172	(4.4%)
乳房	229	(7.9%)	205	(5.7%)	248	(6.3%)
子宮頸部	138	(4.8%)	148	(4.1%)	164	(4.2%)
子宮体部	37	(1.3%)	53	(1.5%)	63	(1.6%)
子宮	0	(0.0%)	--	--	0	(0.0%)
卵巣	38	(1.3%)	46	(1.3%)	36	(0.9%)
前立腺	180	(6.2%)	246	(6.8%)	284	(7.2%)
膀胱	75	(2.6%)	106	(2.9%)	139	(3.5%)
腎・他の尿路	73	(2.5%)	76	(2.1%)	93	(2.4%)
脳・中枢神経系	15	(0.5%)	24	(0.7%)	33	(0.8%)
甲状腺	58	(2.0%)	57	(1.6%)	55	(1.4%)
悪性リンパ腫	100	(3.4%)	140	(3.9%)	129	(3.3%)
多発性骨髄腫	20	(0.7%)	26	(0.7%)	26	(0.7%)
白血病	47	(1.6%)	64	(1.8%)	52	(1.3%)
その他の造血器	17	(0.6%)	20	(0.6%)	35	(0.9%)
その他	95	(3.3%)	138	(3.8%)	127	(3.2%)
合計	2,904		3,600		3,931	

7-2. 部位別登録数の上位5部位

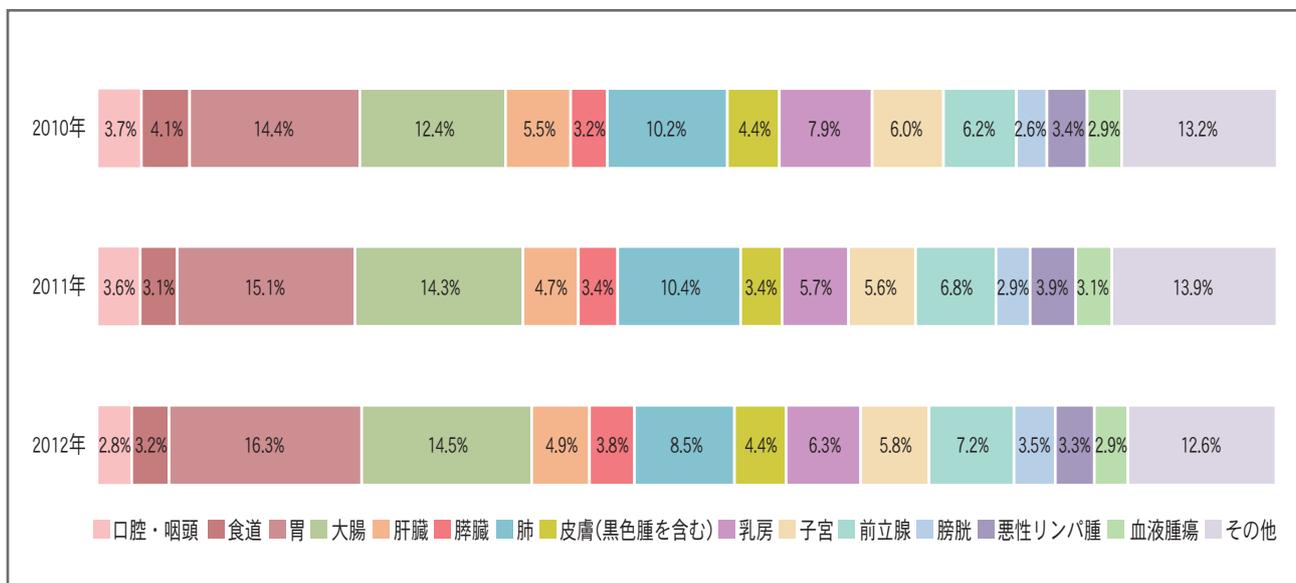
順位	部位名	2010年		2011年		2012年			
		件数	(%)	部位名	件数	(%)	部位名	件数	(%)
1	胃	419	(14.4%)	胃	543	(15.1%)	胃	641	(16.3%)
2	肺	295	(10.2%)	肺	376	(10.4%)	結腸	368	(9.4%)
3	乳房	229	(7.9%)	結腸	319	(8.9%)	肺	335	(8.5%)
4	結腸	197	(6.8%)	前立腺	246	(6.8%)	前立腺	284	(7.2%)
5	前立腺	180	(6.2%)	乳房	205	(5.7%)	乳房	248	(6.3%)

◇結腸・直腸の合計を『大腸』、子宮頸部・子宮体部・子宮の合計を『子宮』、多発性骨髄腫・白血病・その他の造血器の合計を『血液腫瘍』とした場合

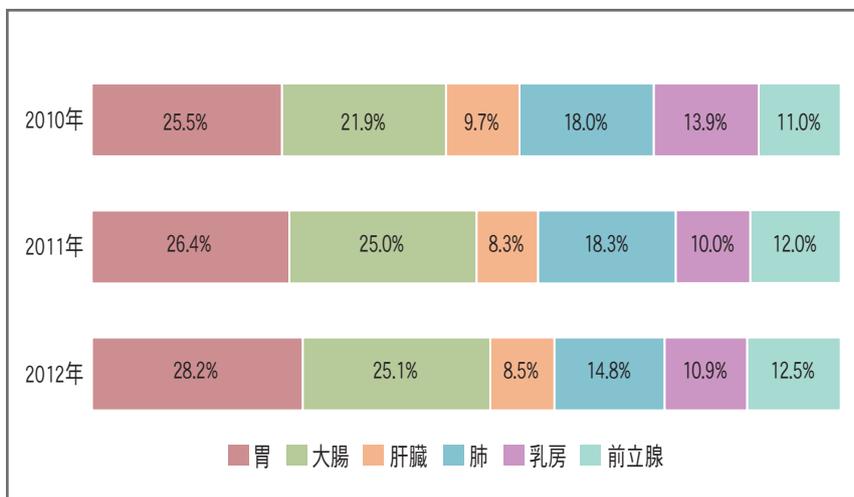
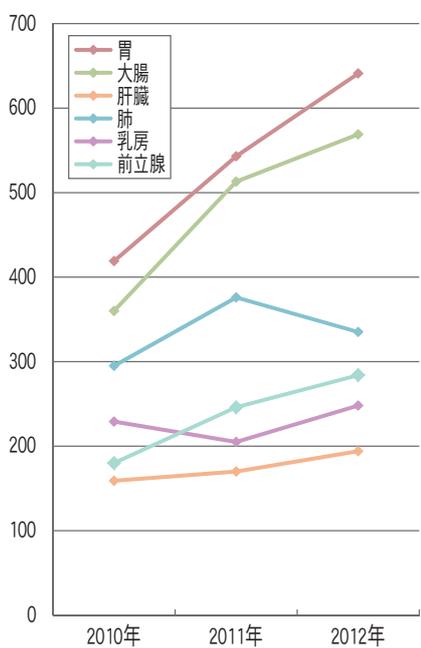
順位	部位名	2010年		2011年		2012年		2012年全国				
		件数	(%)	部位名	件数	(%)	部位名	件数	(%)	部位名	件数	(%)
1	胃	419	(14.4%)	胃	543	(15.1%)	胃	641	(16.3%)	大腸	81,885	(13.9%)
2	大腸	360	(12.4%)	大腸	513	(14.3%)	大腸	569	(14.5%)	胃	69,541	(11.8%)
3	肺	295	(10.2%)	肺	376	(10.4%)	肺	335	(8.5%)	肺	66,756	(11.3%)
4	乳房	229	(7.9%)	前立腺	246	(6.8%)	前立腺	284	(7.2%)	乳房	58,813	(10.0%)
5	前立腺	180	(6.2%)	乳房	205	(5.7%)	乳房	248	(6.3%)	前立腺	46,331	(7.8%)

3年間で上位3部位に変動はなく、胃、大腸、肺の順でした。2012年の全国は上位3部位が大腸、胃、肺の順となっており、高知県では胃がんが多い傾向にあります。

7-3. 部位別の割合



7-4. 登録数の年次推移と割合 5大がん・前立腺がん抜粋



※部位別割合は5大がん・前立腺がんの合計が100%として計算

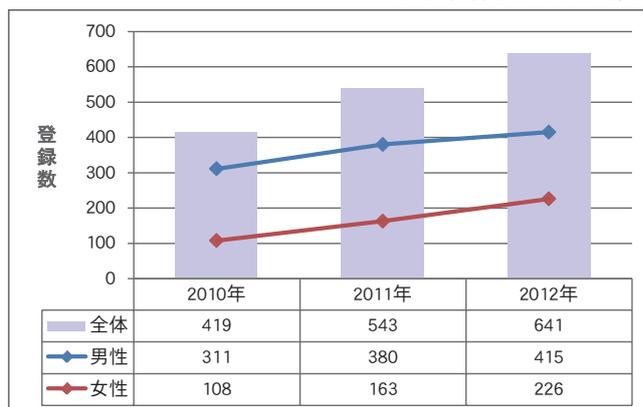
部位別集計

※症例区分2・3のみを集計

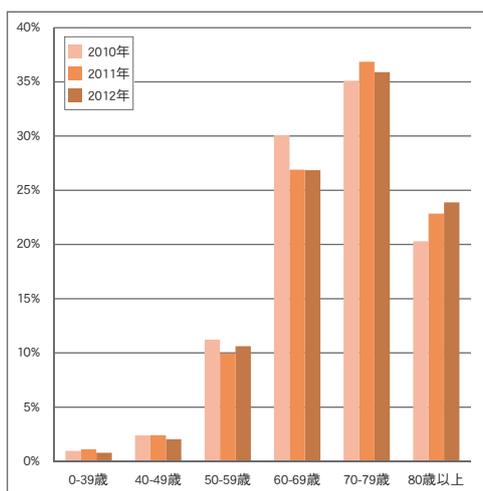
拠点病院で登録された胃の症例のうち、自施設で初回治療された件数は2010年419件、2011年543件、2012年641件と上昇傾向です。年齢階級別にみると60歳以上の割合が高く、男女別では男性に多い傾向は3年間の調査では変化を認めません。

また、治療前のステージ及び術後病理学的ステージともにI期が最も多い傾向も同じであり、2012年の全国集計と同様の結果です。

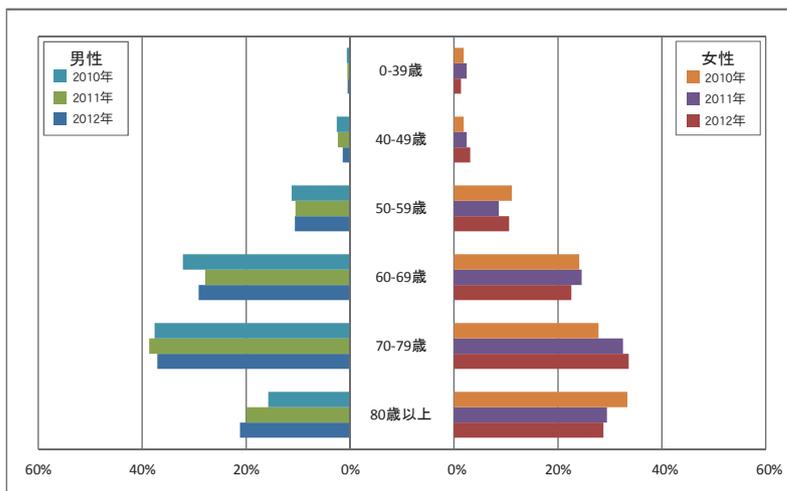
治療法を見るとI期の症例は内視鏡手術と外科手術による治療が多く、これに腹腔鏡的外科手術を含めて低侵襲性の治療が多くなる傾向が見られます。II及びIII期は手術のみ及び薬物療法併用の治療が多く、IV期は薬物主体の治療と、胃癌の診療ガイドラインに沿った治療が実施されています。



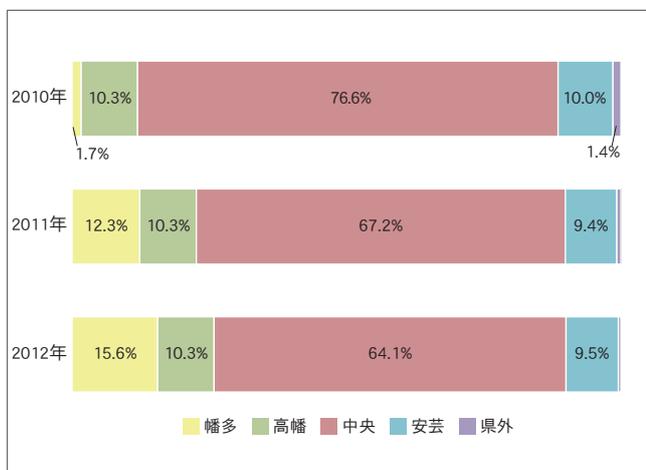
1. 年齢階級別 登録割合



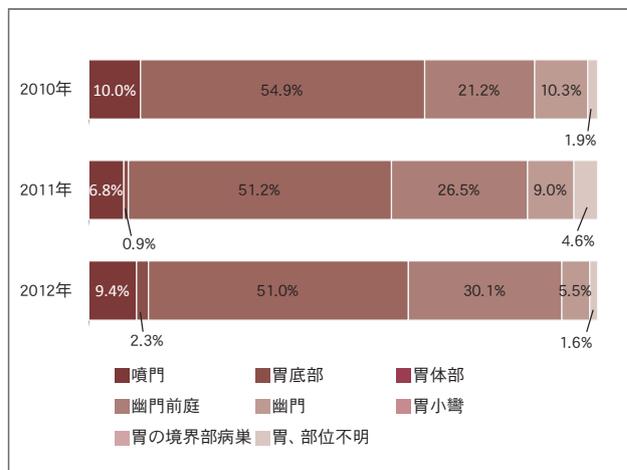
2. 性別 年齢階級別 登録割合



3. 医療圏別 登録割合



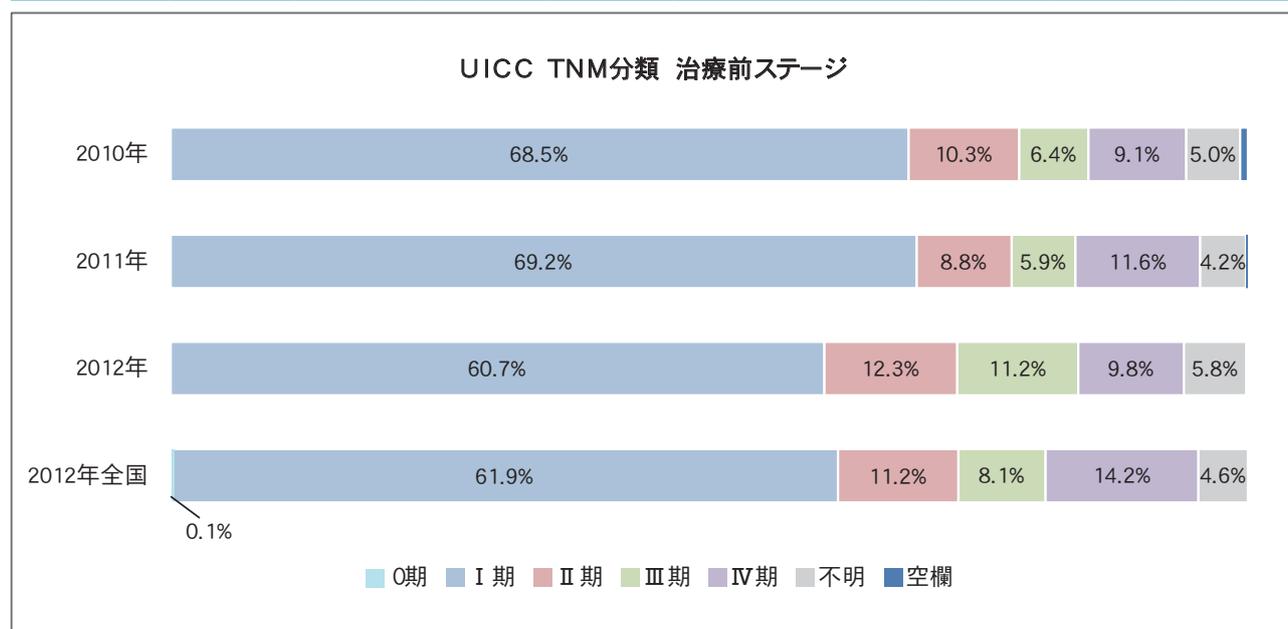
4. 詳細部位別 登録割合



※胃の0期は使用しないことが院内がん登録のルールで決められています。

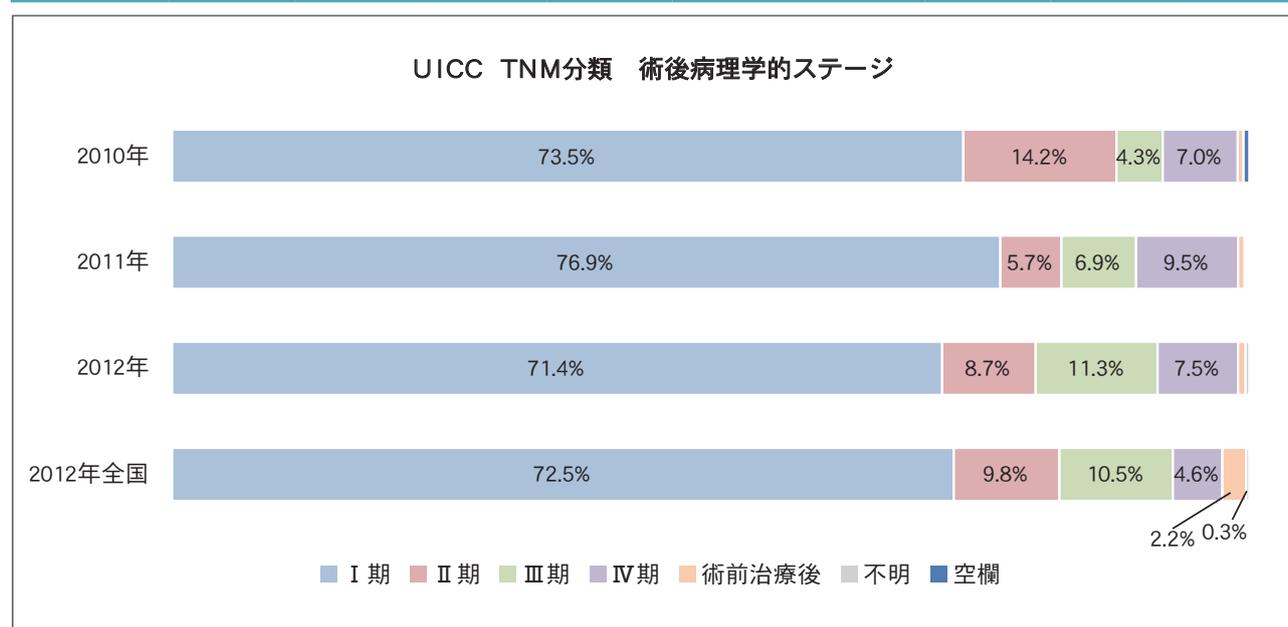
5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄	合計
2010年		68.5%	10.3%	6.4%	9.1%	5.0%	--	419
2011年		69.2%	8.8%	5.9%	11.6%	4.2%	--	543
2012年		60.7%	12.3%	11.2%	9.8%	5.8%	--	641
2012年全国	0.1%	61.9%	11.2%	8.1%	14.2%	4.6%	0.0%	62,701

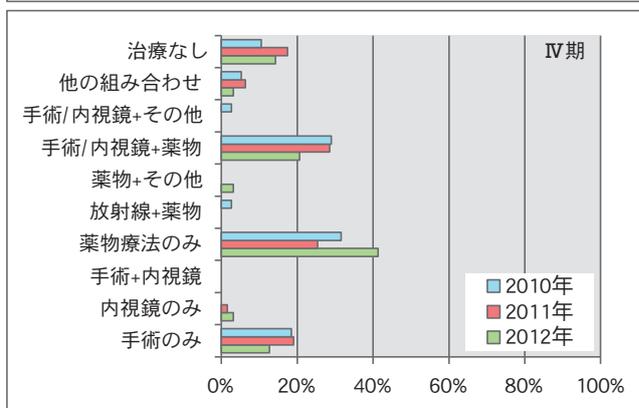
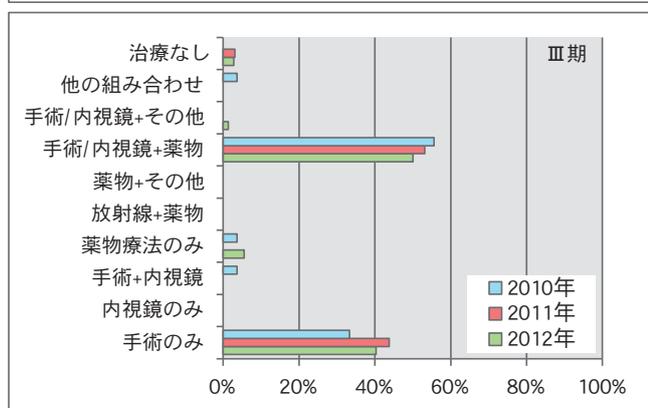
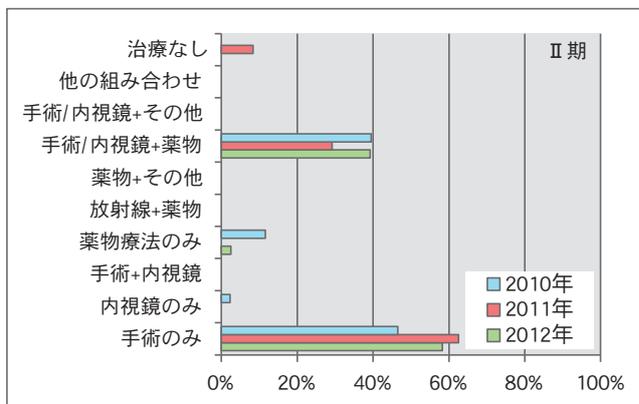
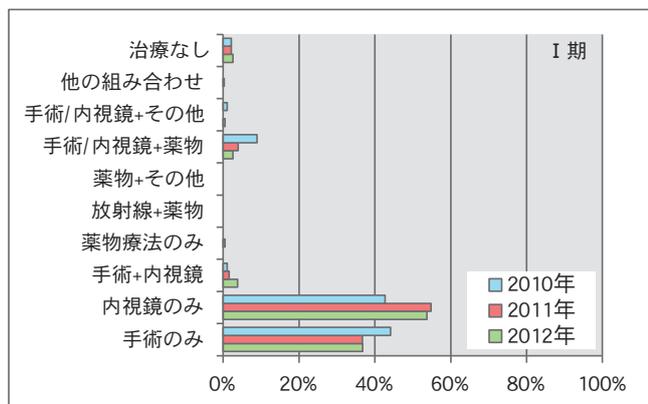


6. UICC TNM分類 術後病理学的ステージ〈原発巣切除〉

	0期	I期	II期	III期	IV期	術前治療後	不明	空欄	合計
2010年		73.5%	14.2%	4.3%	7.0%	--	0.0%	--	373
2011年		76.9%	5.7%	6.9%	9.5%	--	--	--	476
2012年		71.4%	8.7%	11.3%	7.5%	--	--	--	576
2012年全国	0.0%	72.5%	9.8%	10.5%	4.6%	2.2%	0.3%	0.0%	50,388



7. UICC TNM分類 治療前ステージ別 年別 治療方法割合

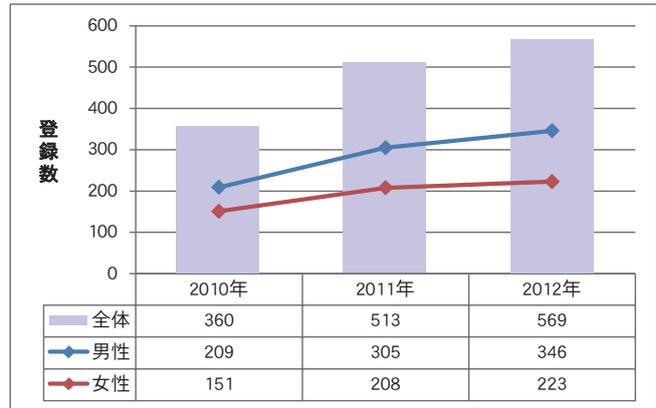


大腸

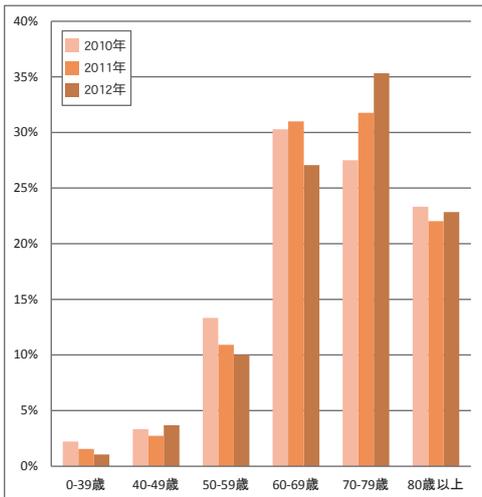
※症例区分2・3のみを集計

拠点病院で登録された大腸の症例のうち、自施設で初回治療された件数は、2010年から2012年にかけて増加しています。年齢階級別にみると、60歳代から70歳代の割合が大きく、男女差は殆どありません。

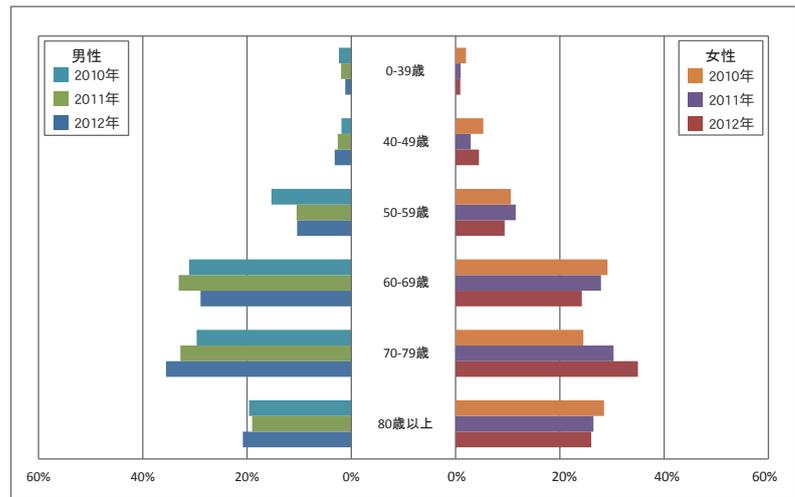
治療前ステージ別の登録割合は、2010年以降0期からⅡ期の割合が減少、Ⅲ期からⅣ期の割合は増加しています。治療前ステージ別の初回治療の組み合わせでは、0期では内視鏡治療のみが主な治療法でⅠ期及びⅡ期においては手術のみの治療が主な治療法となっています。Ⅲ期では手術のみの治療法に続き切除治療に薬物療法を加える治療法が増加傾向にあります。Ⅳ期では治療方法にばらつきがありますが、切除療法に薬物療法を加えた治療方法が主な治療方法となっています。



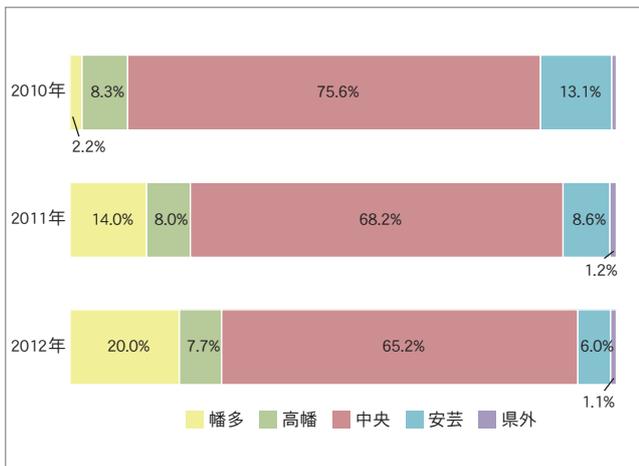
1. 年齢階級別 登録割合



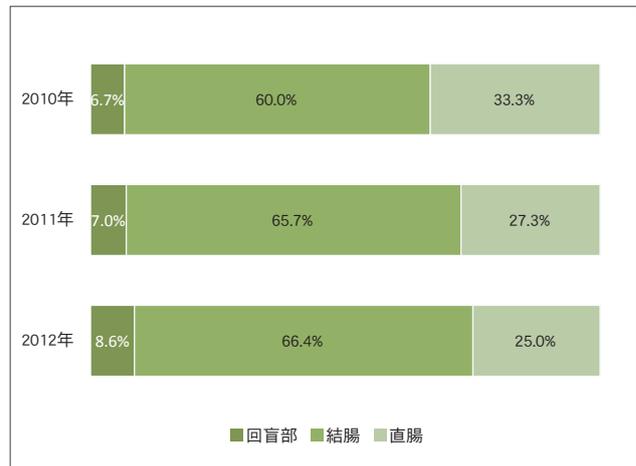
2. 性別 年齢階級別 登録割合



3. 医療圏別 登録割合

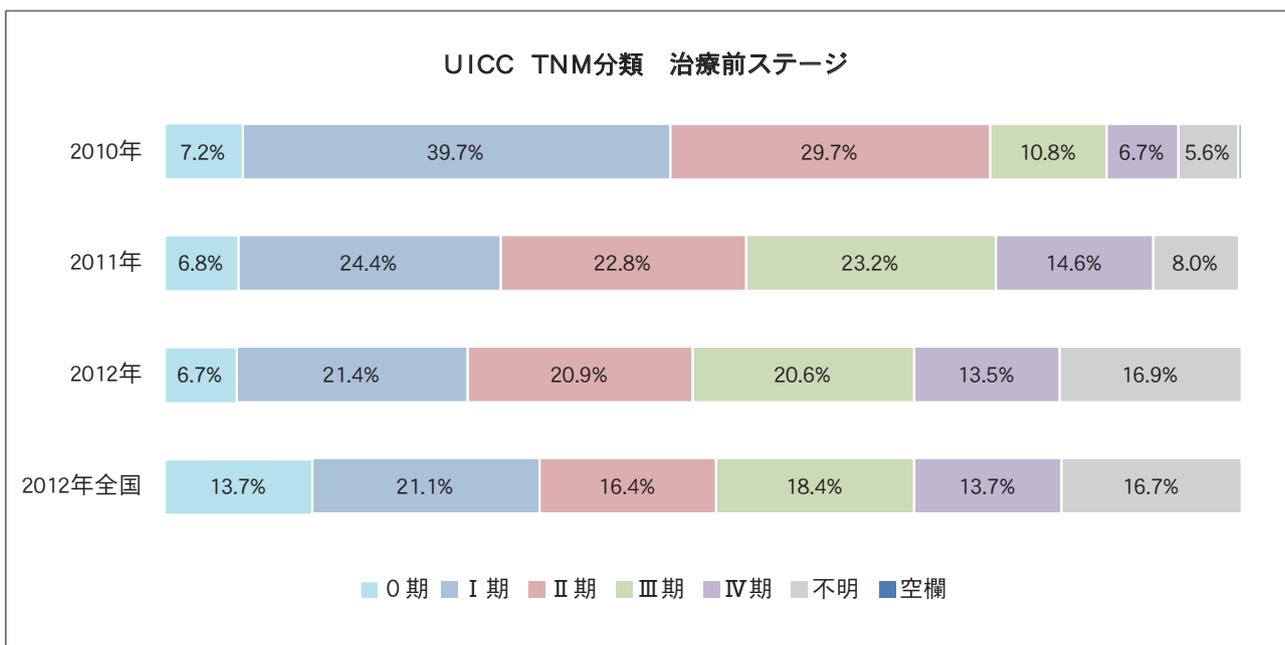


4. 詳細部位別 登録割合



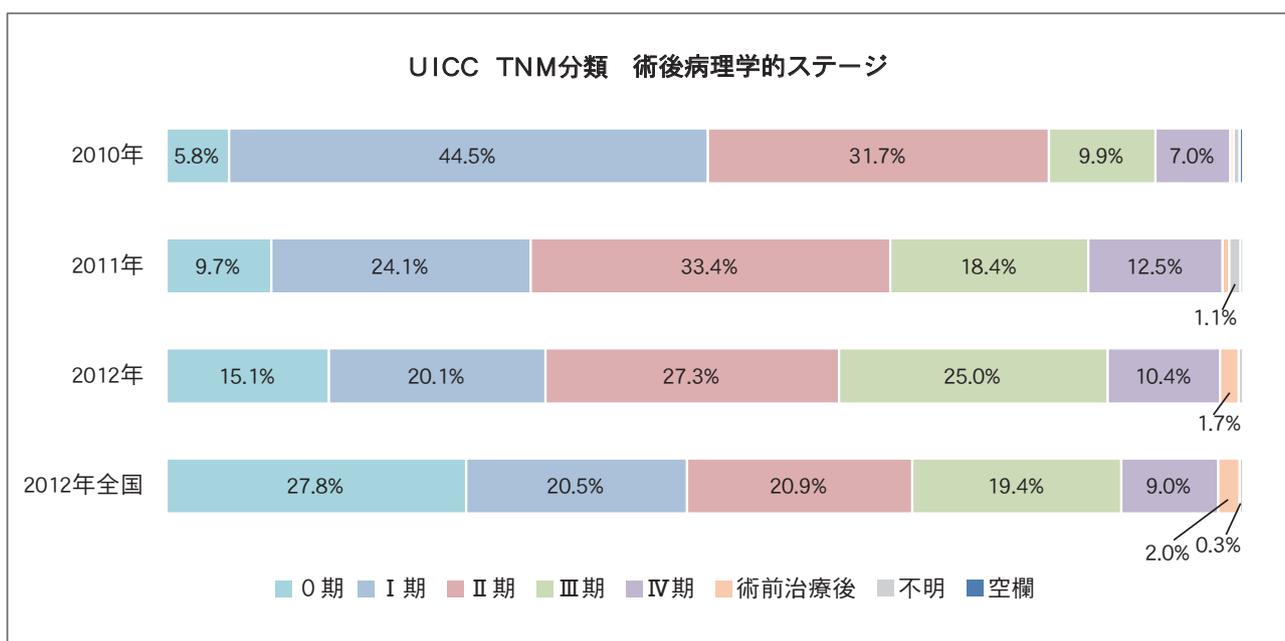
5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄	合計
2010年	7.2%	39.7%	29.7%	10.8%	6.7%	5.6%	--	360
2011年	6.8%	24.4%	22.8%	23.2%	14.6%	8.0%	--	513
2012年	6.7%	21.4%	20.9%	20.6%	13.5%	16.9%	0.0%	569
2012年全国	13.7%	21.1%	16.4%	18.4%	13.7%	16.7%	0.0%	72,268



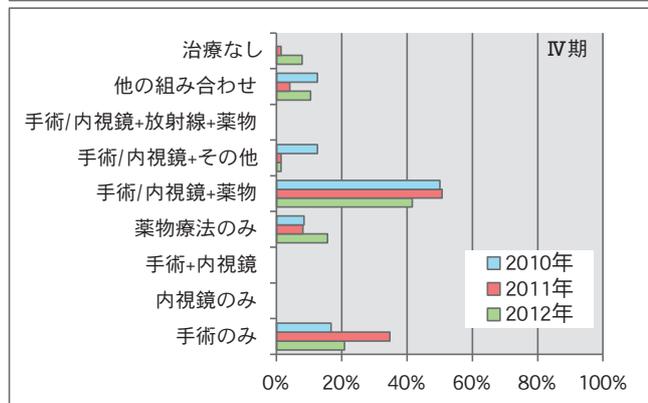
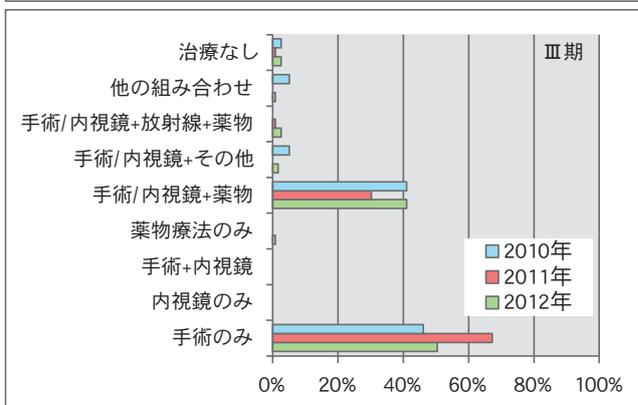
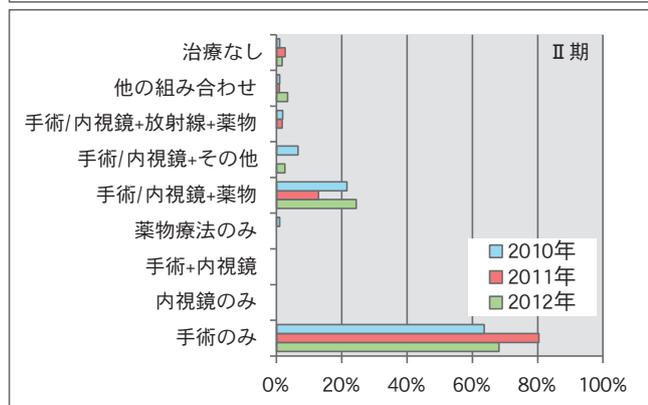
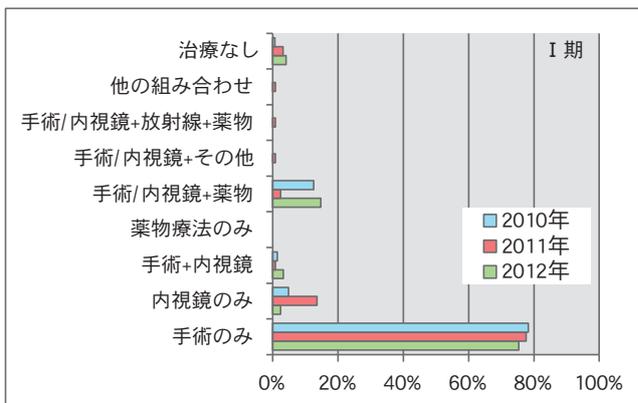
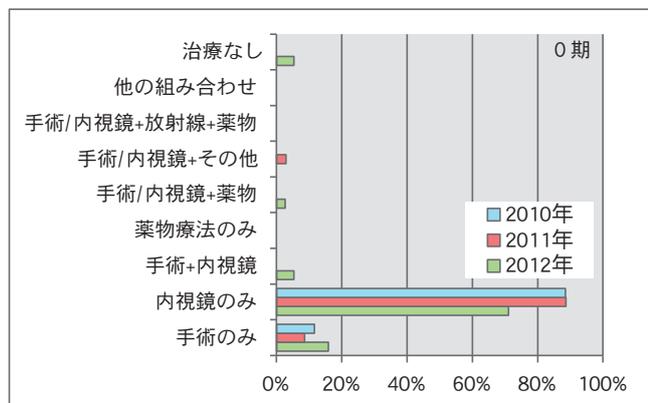
6. UICC TNM分類 術後病理学的ステージ〈原発巣切除〉

	0期	I期	II期	III期	IV期	術前治療後	不明	空欄	合計
2010年	5.8%	44.5%	31.7%	9.9%	7.0%	--	--	--	344
2011年	9.7%	24.1%	33.4%	18.4%	12.5%	--	1.1%	--	473
2012年	15.1%	20.1%	27.3%	25.0%	10.4%	1.7%	--	0.0%	517
2012年全国	27.8%	20.5%	20.9%	19.4%	9.0%	2.0%	0.3%	0.0%	65,215



大腸

7. UICC TNM分類 治療前ステージ別 年別 治療方法割合



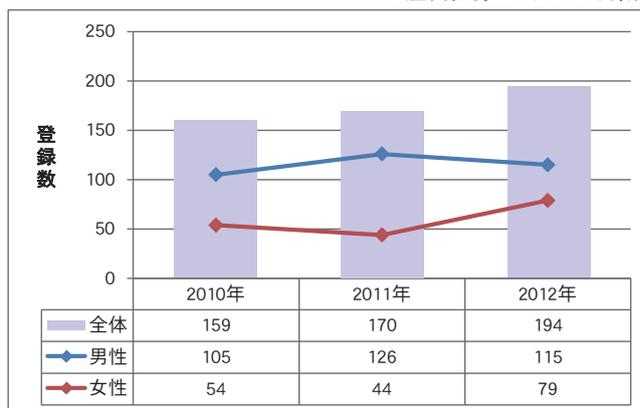
肝臓

※症例区分2・3のみを集計

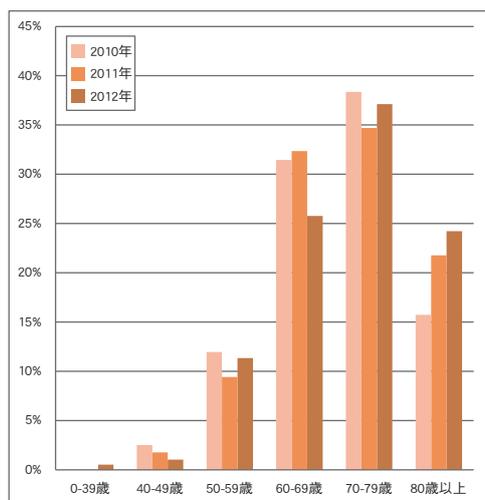
拠点病院で登録された肝臓の症例のうち、自施設で初回治療が行われた件数は2010年159件、2011年170件、2012年194件と年々増加しています。年齢階級別にみると、60歳代から70歳代の割合が大きく、女性では70歳代の割合が大きくなっています。

来院経路は3年間ともに約75%が他院からの紹介により受診しています。発見経緯は、他疾患の経過観察中に発見された割合が、2012年は56.7%と最も大きくなっています。

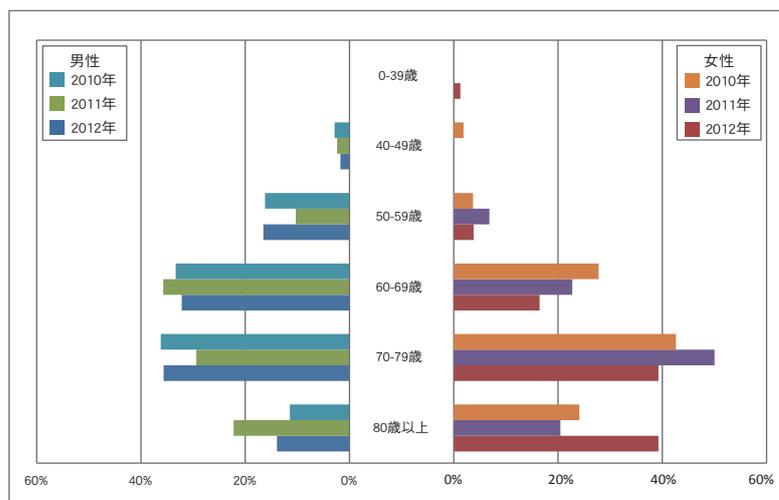
治療前ステージ別の登録割合は、I期が最も多く、2010年は47.2%、2011年は32.4%、2012年は40.2%です。治療前ステージ別の初回治療の組み合わせでは、I期、II期及びIII期において、薬物及びその他の治療法の組み合わせの割合が増加しています。IV期では、薬物療法のみ割合が大きくなっています。



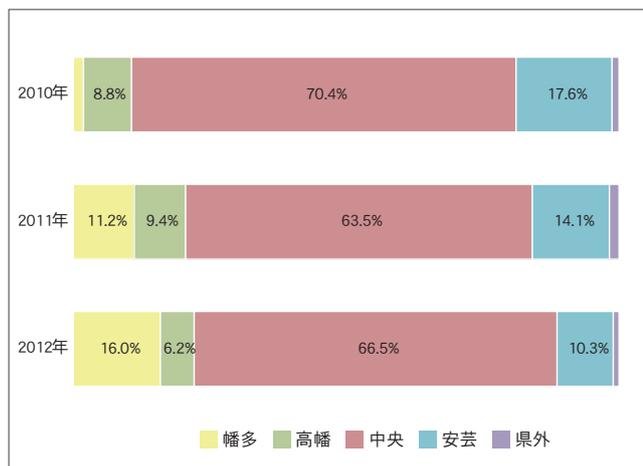
1. 年齢階級別 登録割合



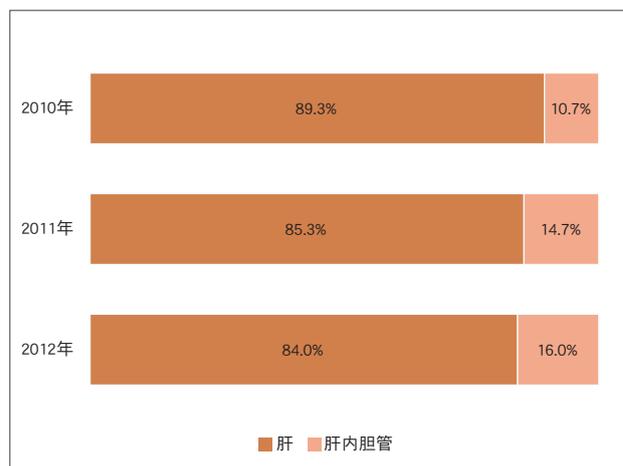
2. 性別 年齢階級別 登録割合



3. 医療圏別 登録割合



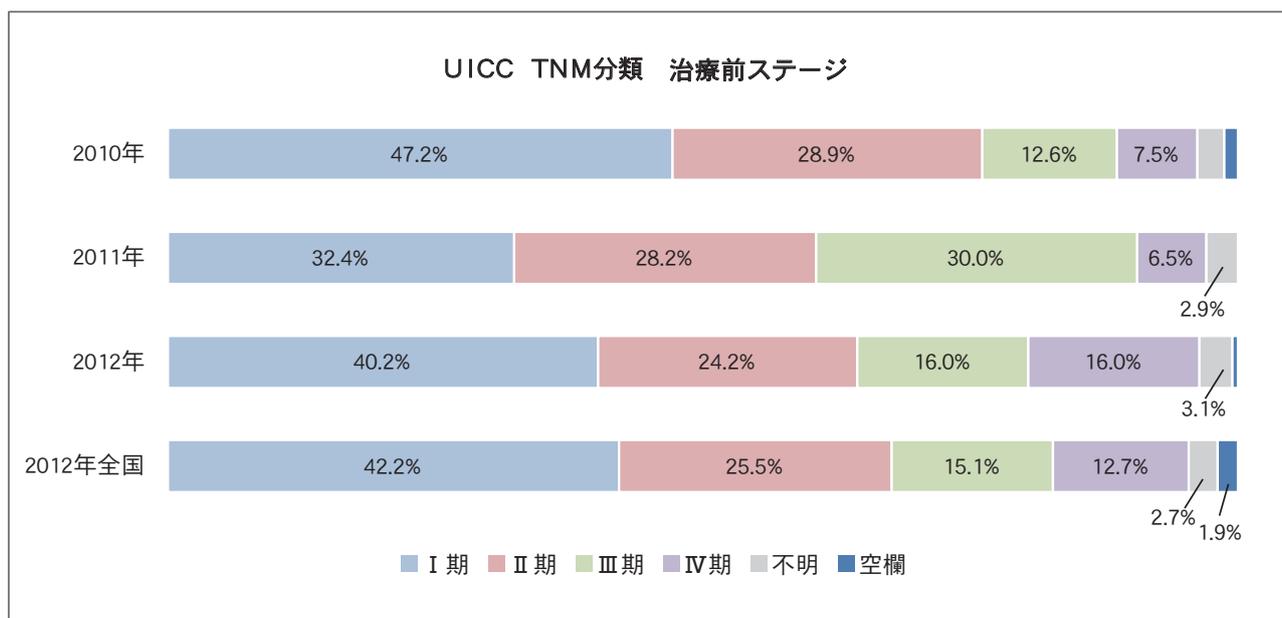
4. 詳細部位別 登録割合



肝臓

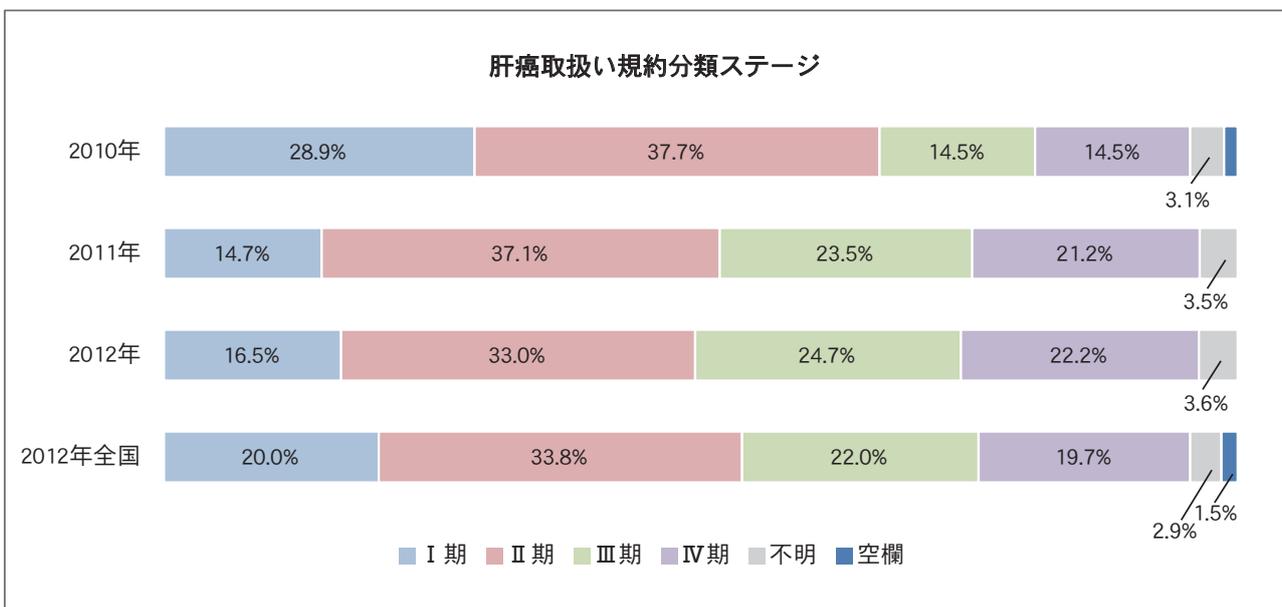
5-1. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄	合計
2010年	0.0%	47.2%	28.9%	12.6%	7.5%	--	--	159
2011年	0.0%	32.4%	28.2%	30.0%	6.5%	2.9%	0.0%	170
2012年	0.0%	40.2%	24.2%	16.0%	16.0%	3.1%	--	194
2012年全国	0.0%	42.2%	25.5%	15.1%	12.7%	2.7%	1.9%	18,470



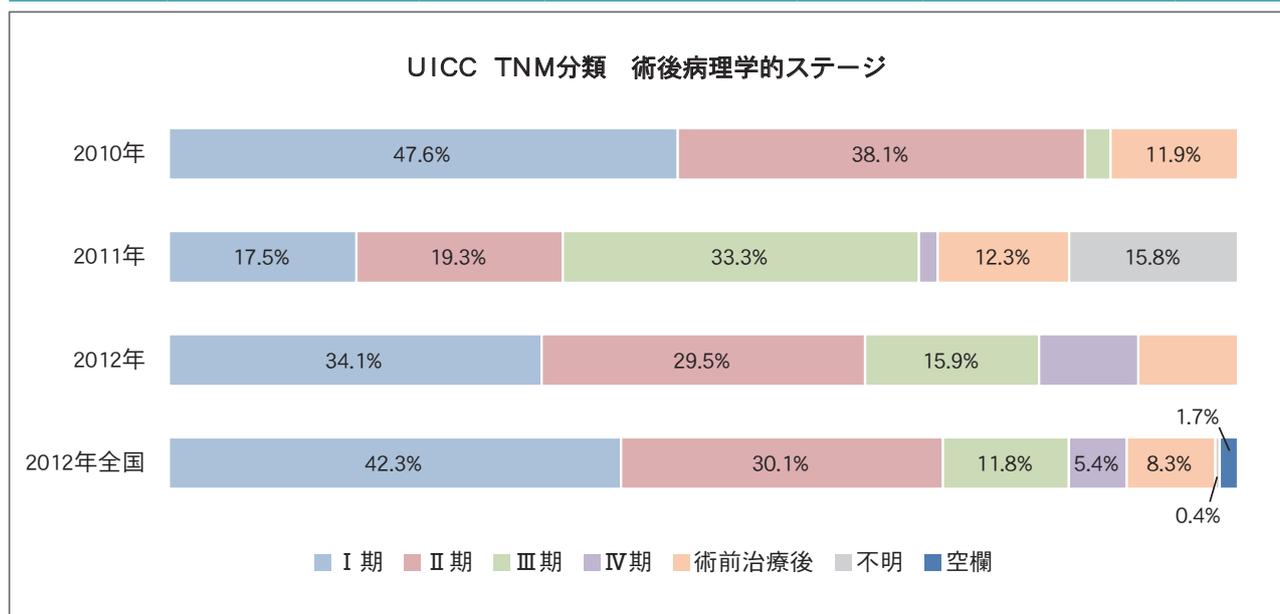
5-2. 肝癌取扱い規約分類ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	術前治療後	不明	空欄	合計
2010年	0.0%	28.9%	37.7%	14.5%	14.5%		3.1%	--	159
2011年	0.0%	14.7%	37.1%	23.5%	21.2%		3.5%	0.0%	170
2012年	0.0%	16.5%	33.0%	24.7%	22.2%		3.6%	0.0%	194
2012年全国	0.0%	20.0%	33.8%	22.0%	19.7%		2.9%	1.5%	18,470

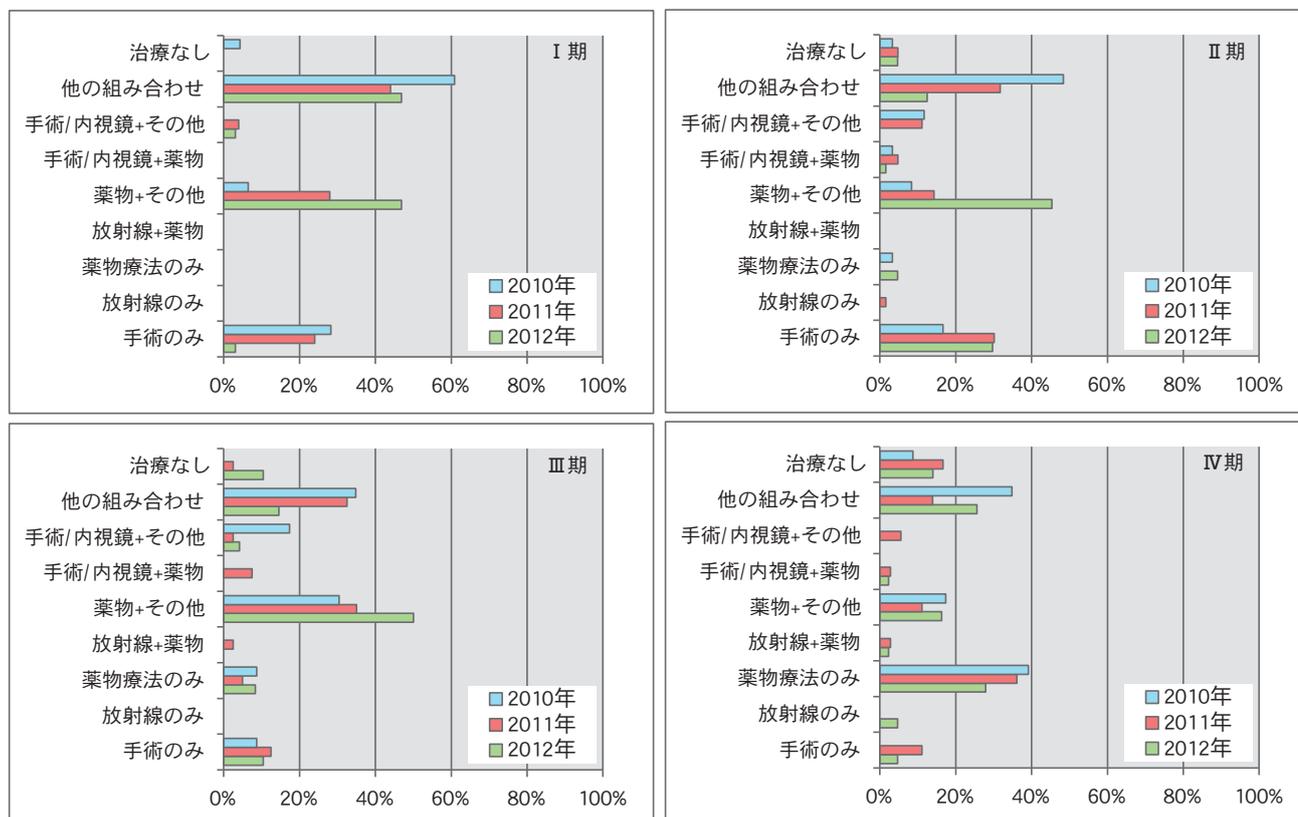


6. UICC TNM分類 術後病理学的ステージ〈原発巣切除〉

	0期	I期	II期	III期	IV期	術前治療後	不明	空欄	合計
2010年	0.0%	47.6%	38.1%	--	0.0%	11.9%	0.0%	0.0%	42
2011年	0.0%	17.5%	19.3%	33.3%	--	12.3%	15.8%	0.0%	57
2012年	0.0%	34.1%	29.5%	15.9%	--	--	0.0%	--	44
2012年全国	0.0%	42.3%	30.1%	11.8%	5.4%	8.3%	0.4%	1.7%	5,453



7. 肝癌取扱い規約分類ステージ別 年別 治療方法割合



肺

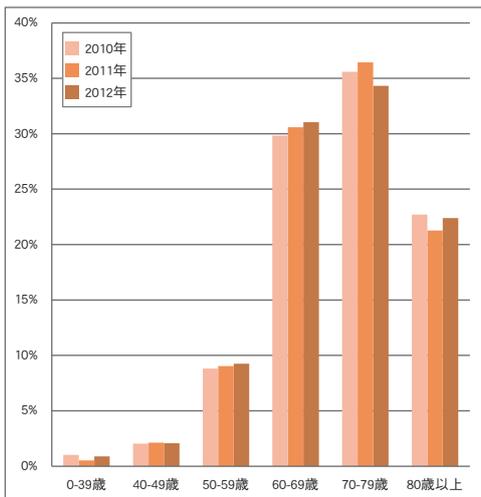
拠点病院で登録された肺の症例のうち、自施設で初回治療された件数は、2010年295件、2011年376件、2012年335件となっています。年齢階級別にみると、60歳代から70歳代の割合が大きく、男女差は殆どありません。

治療前ステージ別の登録割合は、3年間でⅠ期に減少傾向が見られ、Ⅳ期は増加傾向となっています。治療前ステージ別の初回治療では、Ⅰ期では手術のみの治療が主な治療法となっています。Ⅱ期では治療法にばらつきがあり、また年別によっても治療法のばらつきがみられます。Ⅲ期、Ⅳ期になると手術療法が少なくなり、放射線と薬物療法の組み合わせや薬物療法のみが主な治療法となっています。

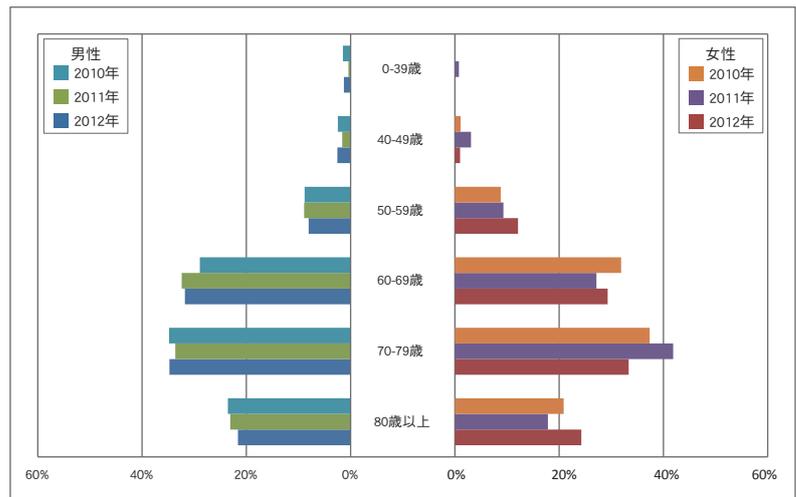
※症例区分2・3のみを集計



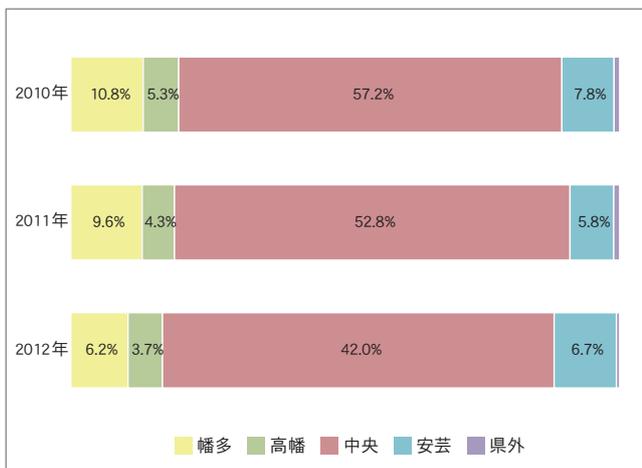
1. 年齢階級別 登録割合



2. 性別 年齢階級別 登録割合



3. 医療圏別 登録割合

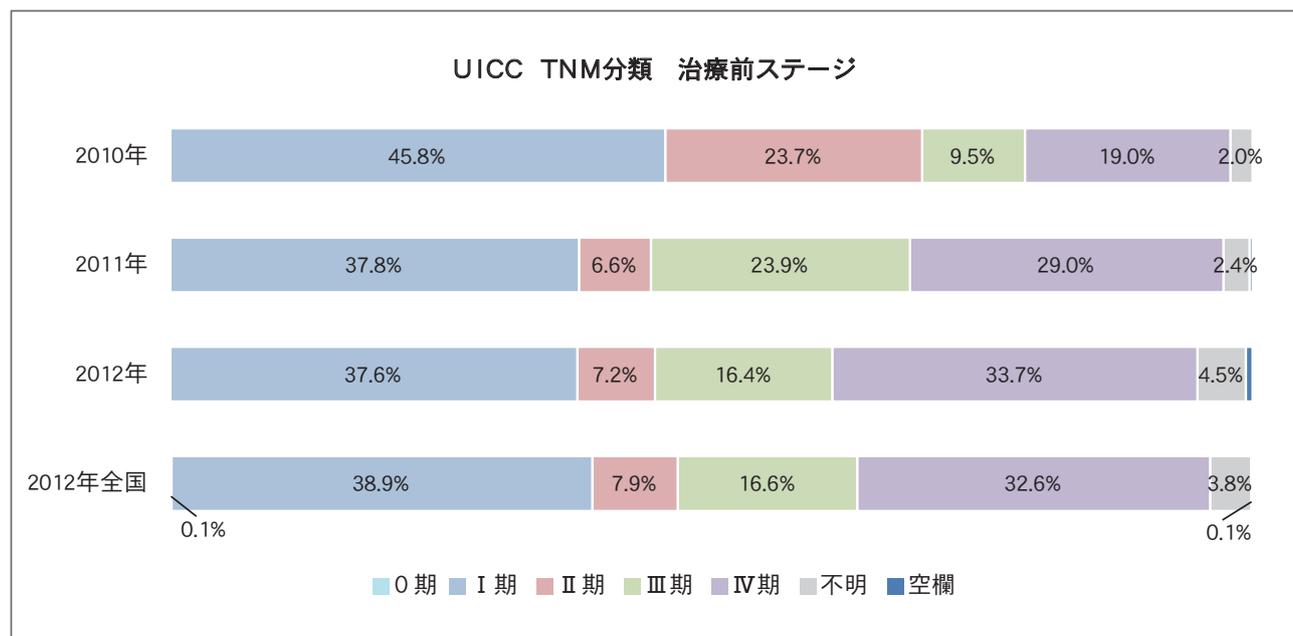


4. 詳細部位別 登録割合



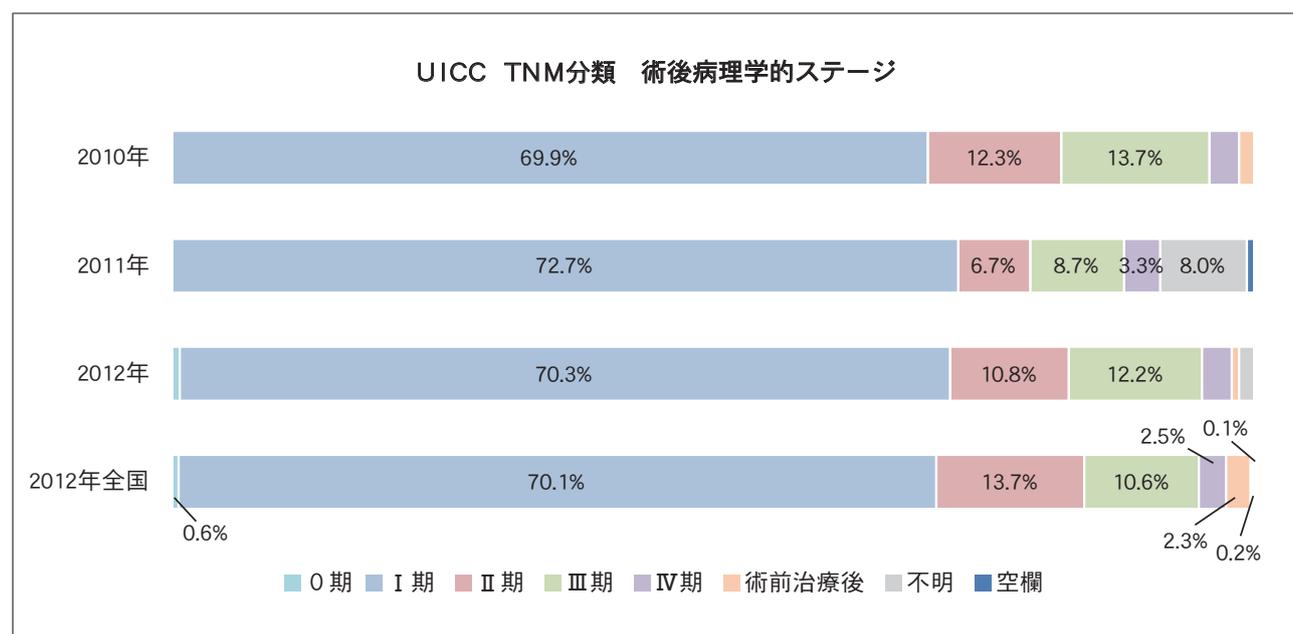
5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄	合計
2010年	0.0%	45.8%	23.7%	9.5%	19.0%	2.0%	0.0%	295
2011年	0.0%	37.8%	6.6%	23.9%	29.0%	2.4%	--	376
2012年	0.0%	37.6%	7.2%	16.4%	33.7%	4.5%	--	335
2012年全国	0.1%	38.9%	7.9%	16.6%	32.6%	3.8%	0.1%	55,993



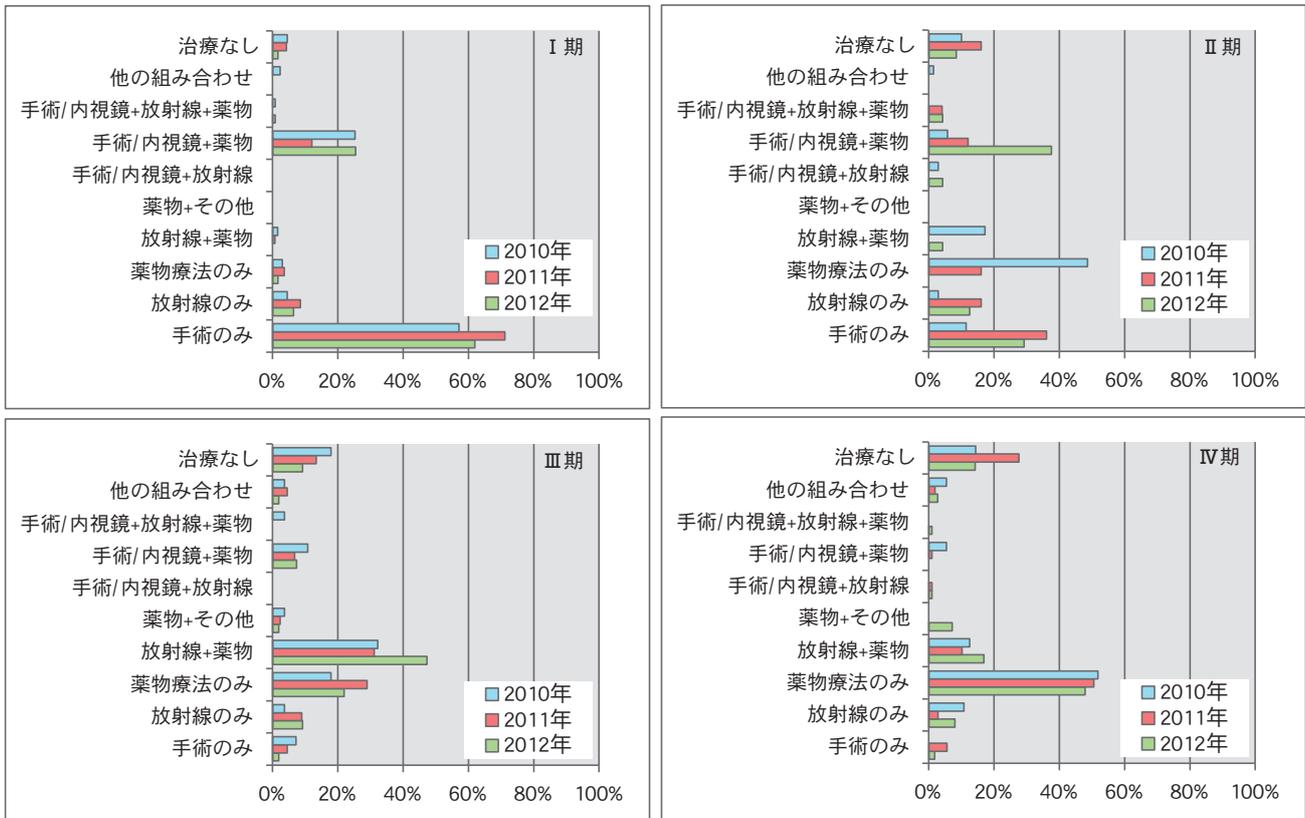
6. UICC TNM分類 術後病理学的ステージ〈原発巣切除〉

	0期	I期	II期	III期	IV期	術前治療後	不明	空欄	合計
2010年	0.0%	69.9%	12.3%	13.7%	--	--	0.0%	0.0%	146
2011年	0.0%	72.7%	6.7%	8.7%	3.3%	0.0%	8.0%	--	150
2012年	--	70.3%	10.8%	12.2%	--	--	--	--	148
2012年全国	0.6%	70.1%	13.7%	10.6%	2.5%	2.3%	0.2%	0.1%	25,158



肺

7. UICC TNM分類 治療前ステージ別 年別 治療方法割合



乳房

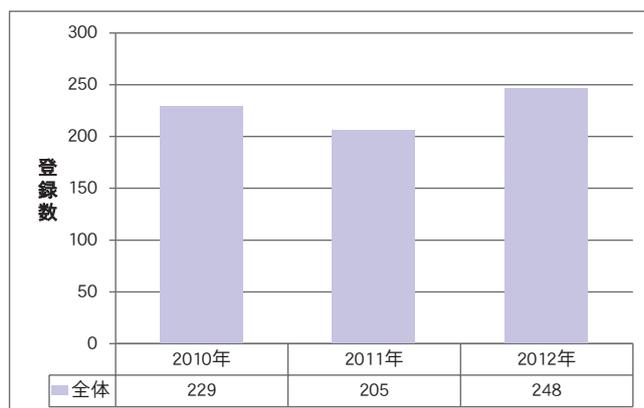
※症例区分2・3のみを集計

拠点病院で登録された乳房の症例のうち、自施設で初回治療が行われた件数は2010年229件、2011年205件、2012年248件となっています。年齢階級別にみると、3年間とも60歳代の割合が最も大きくなっていますが、40歳代と50歳代の割合も他部位に比べ大きいことが分かります。

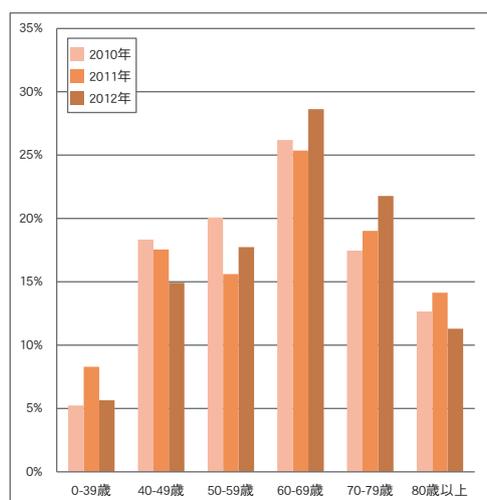
来院経路では、自主来院の割合が6部位の中で最も大きくなっており、発見経緯においても、がん検診での発見が6部位の中で最も大きくなっています。

詳細部位の割合は、3年間とも上外側乳房（C）が最も大きく、2番目に上内側乳房（A）となっています。

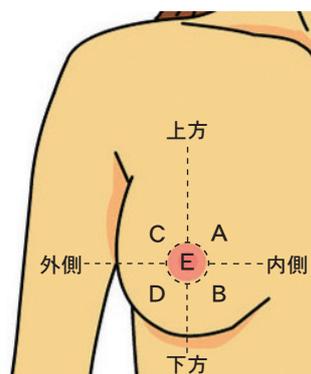
治療前ステージ別の登録割合は、0期からⅡ期が3年間とも80%以上を占め、2011年から2012年では0期とⅠ期で増加傾向が認められます。治療前ステージ別の初回治療の組み合わせでは、Ⅳ期では、薬物療法のみが3年間とも75%以上を占め、主たる治療となっています。



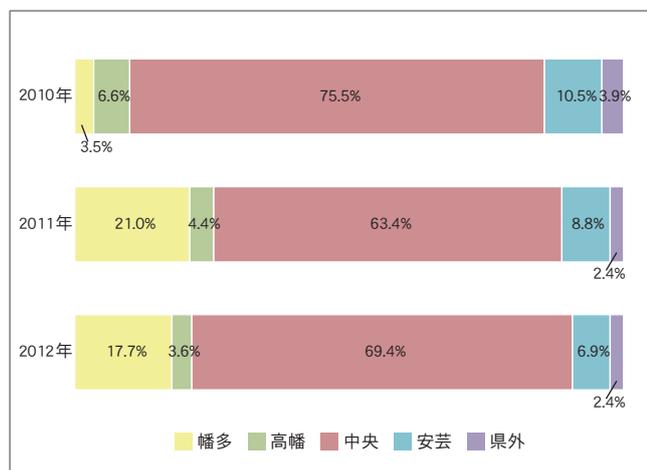
1. 年齢階級別 登録割合



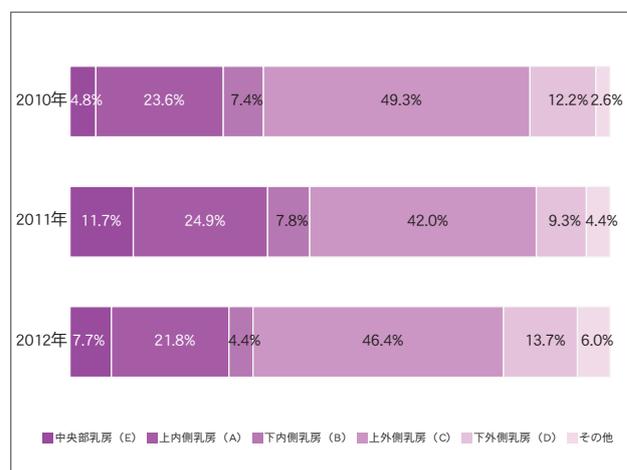
乳房の詳細部位



3. 医療圏別 登録割合



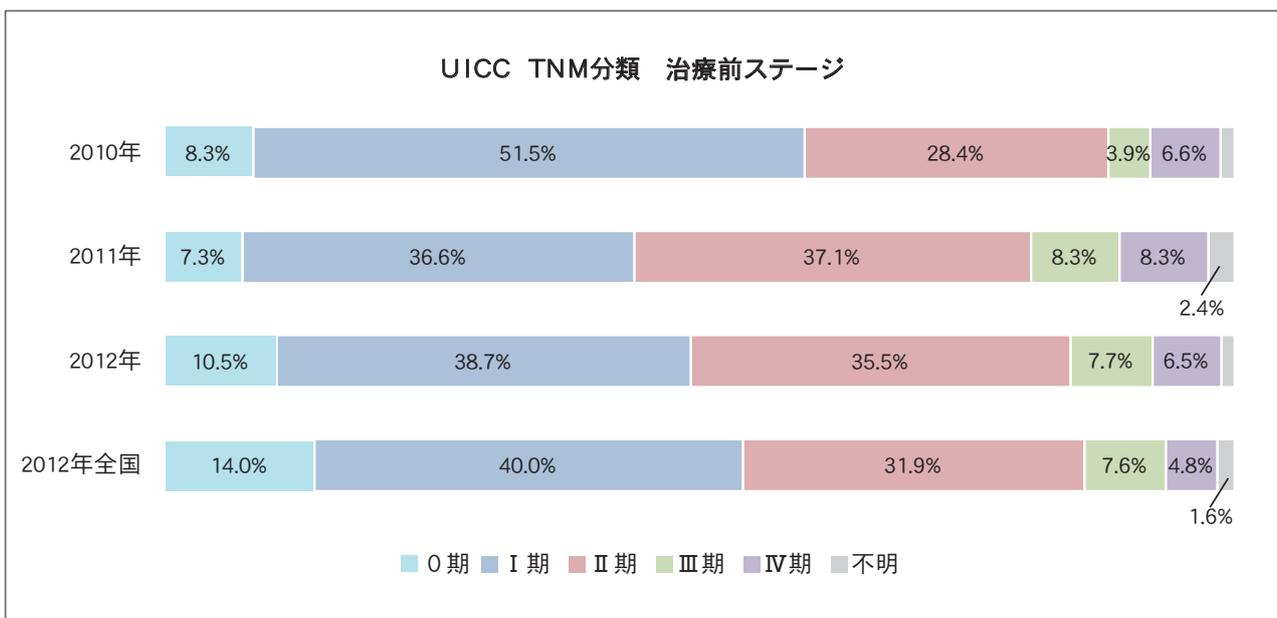
4. 詳細部位別 登録割合



乳房

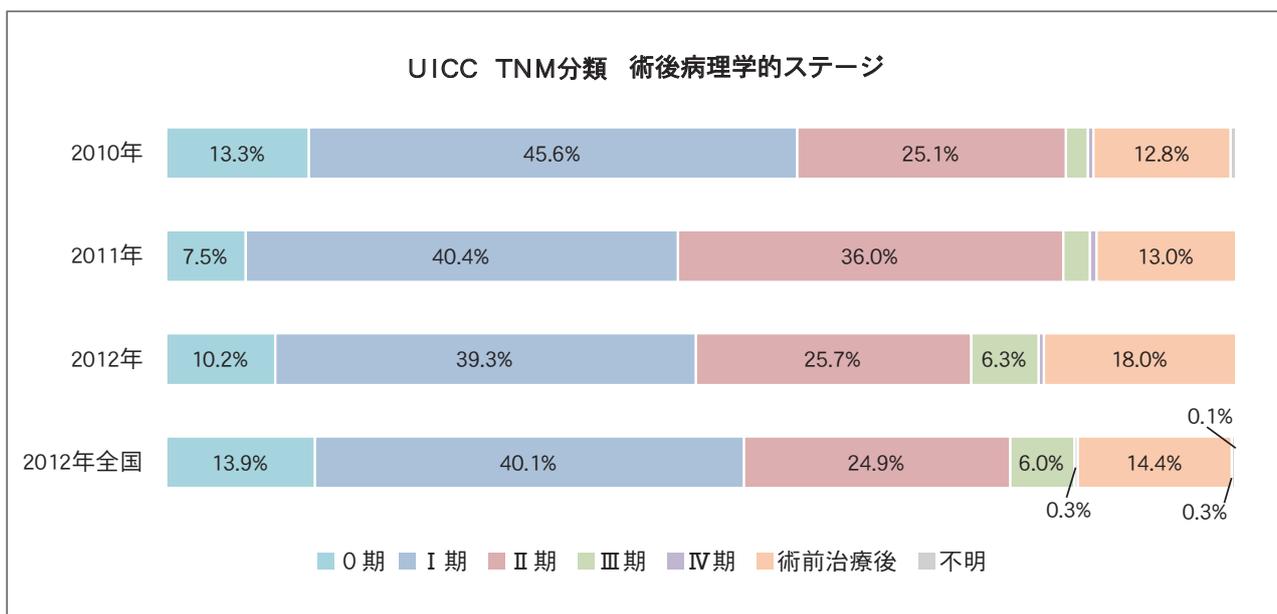
5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄	合計
2010年	8.3%	51.5%	28.4%	3.9%	6.6%	--	0.0%	229
2011年	7.3%	36.6%	37.1%	8.3%	8.3%	2.4%	0.0%	205
2012年	10.5%	38.7%	35.5%	7.7%	6.5%	--	0.0%	248
2012年全国	14.0%	40.0%	31.9%	7.6%	4.8%	1.6%	0.0%	44,072

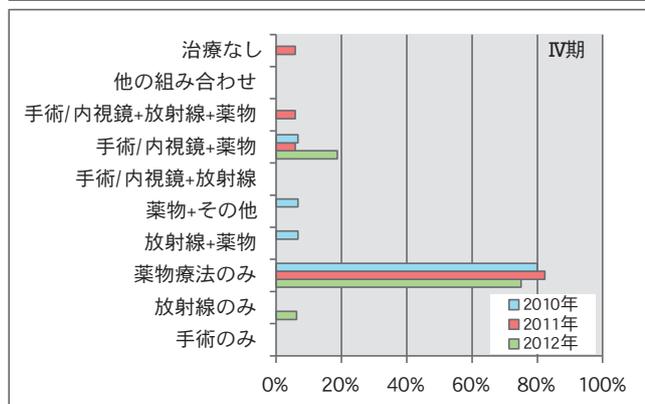
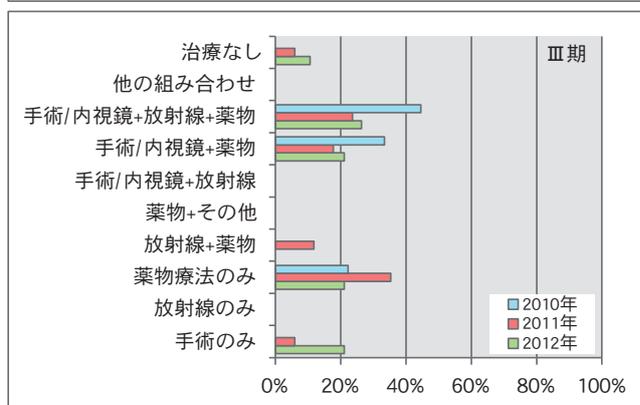
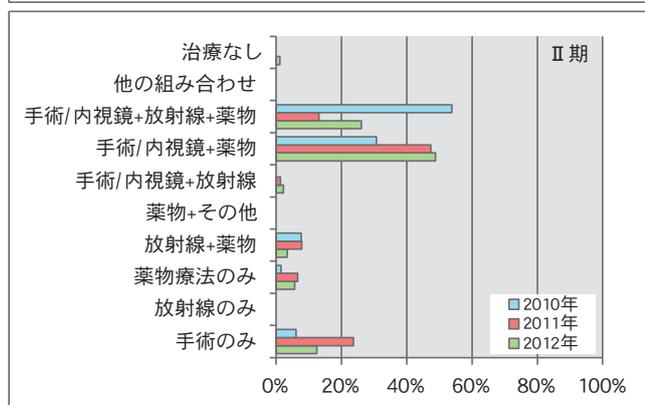
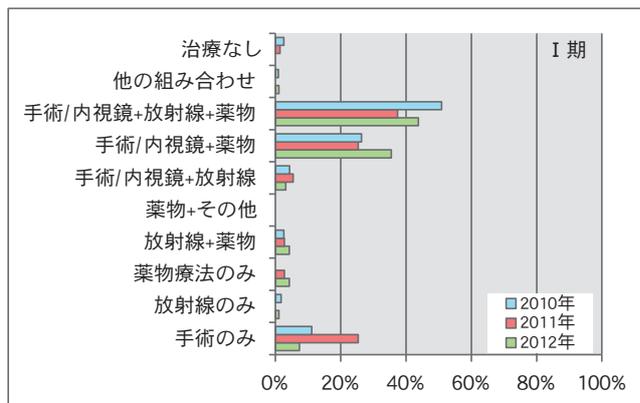
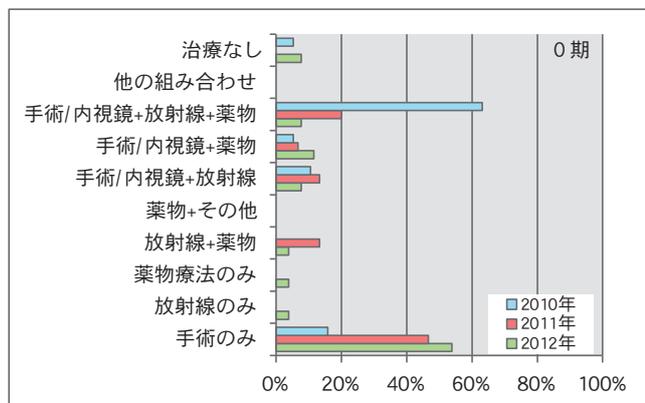


6. UICC TNM分類 術後病理学的ステージ〈原発巣切除〉

	0期	I期	II期	III期	IV期	術前治療後	不明	空欄	合計
2010年	13.3%	45.6%	25.1%	--	--	12.8%	--	0.0%	195
2011年	7.5%	40.4%	36.0%	--	--	13.0%	0.0%	0.0%	161
2012年	10.2%	39.3%	25.7%	6.3%	--	18.0%	0.0%	0.0%	206
2012年全国	13.9%	40.1%	24.9%	6.0%	0.3%	14.4%	0.3%	0.1%	39,824



7. UICC TNM分類 治療前ステージ別 年別 治療方法割合



前立腺

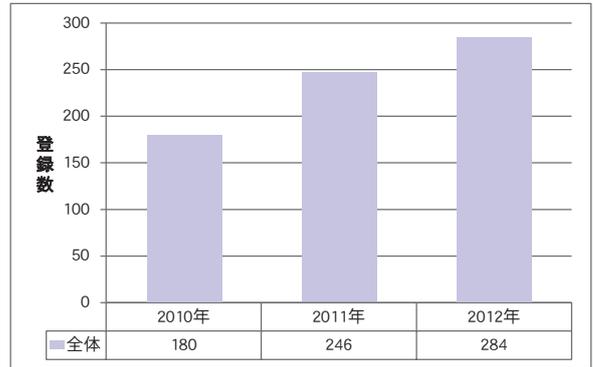
※症例区分2・3のみを集計

今回、前立腺を5大がんとともに取り上げた背景には、近年男性において前立腺がん患者の罹患率の増加が認められたためです。2012年の罹患数（全国推計値）では男性の4位、部位別がん死亡率では6位となっており、今後も重要性が増すと思われ、取り上げる事としました。

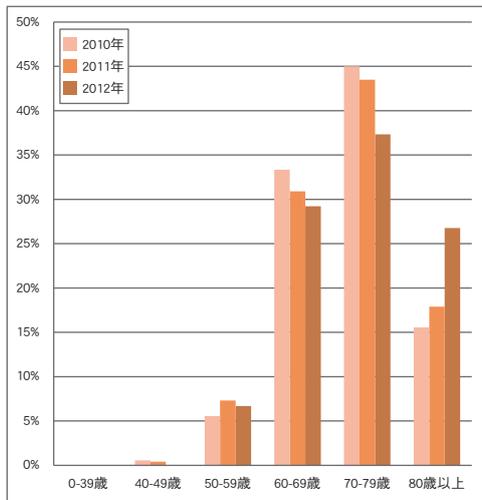
拠点病院で取り上げられた前立腺の症例を件数で見ても2010年180件、2011年246件、2012年284件となっており、増加傾向が顕著です。年齢階級別にみると、60歳以上の高齢者の割合が高くなっています。

治療前のステージは、2010年・2012年でⅡ期が最も多く2012年はⅠ期が多くなっていますが、これは、UICC-TNM分類第7版への移行に伴うステージ分類の改定により、2011年症例までⅡ期に分類されていたものが、2012年症例以後はⅠ期に編入されたためであり、2010年・2011年症例を現在のステージに再分類すると、2012年のステージⅠ期とほぼ同様の分布になると考えられます（付記を参照）。

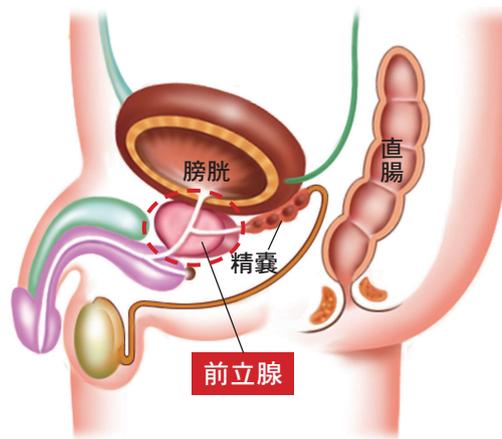
治療前ステージ別の初回治療の組み合わせは、手術症例はⅠ期・Ⅱ期の症例での選択率が高いのは他部位のがんと同じですが、Ⅰ期からⅣ期とも薬物療法の割合が高く、また治療なし（待機療法）が多い点にも注意が必要です。これは前立腺がん患者は高齢者が多く、積極的な治療を行い難い症例が少ない事などが考えられます。



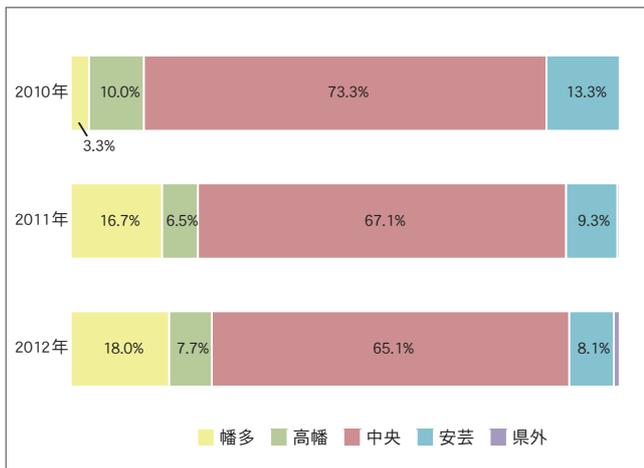
1. 年齢階級別 登録割合



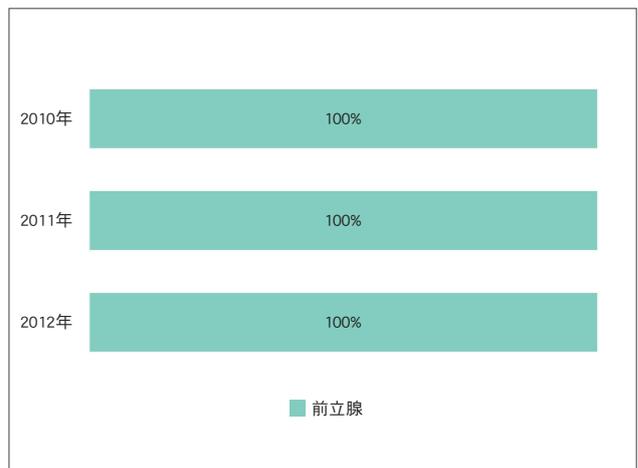
前立腺の位置



3. 医療圏別 登録割合

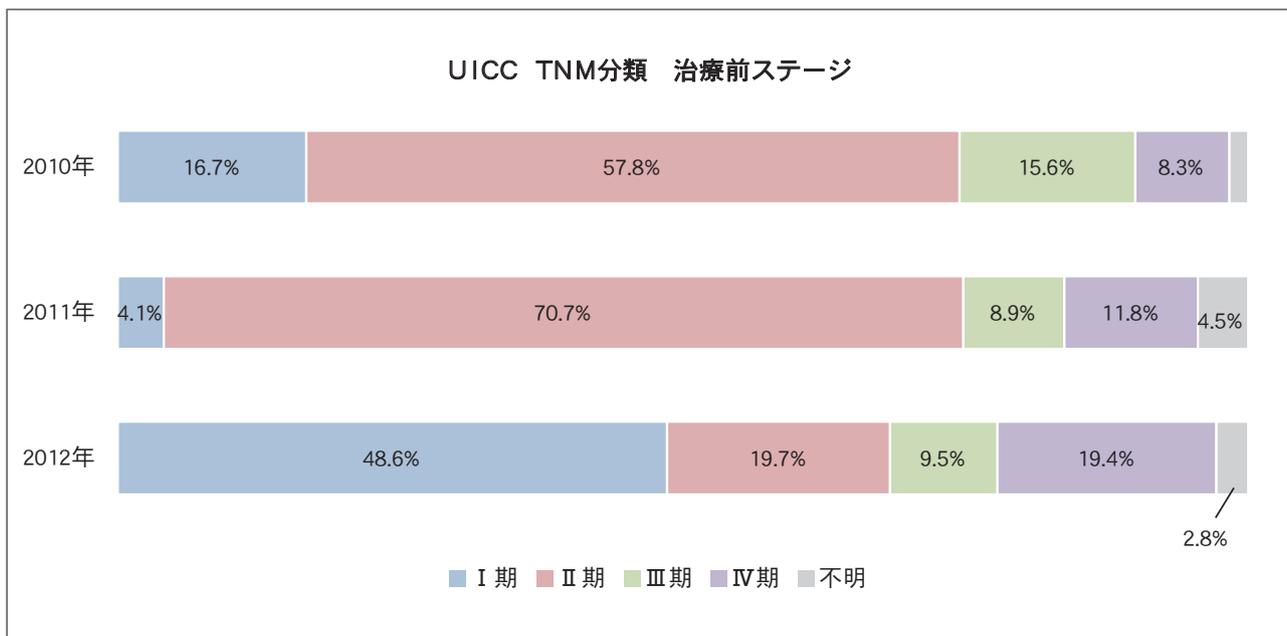


4. 詳細部位別 登録割合



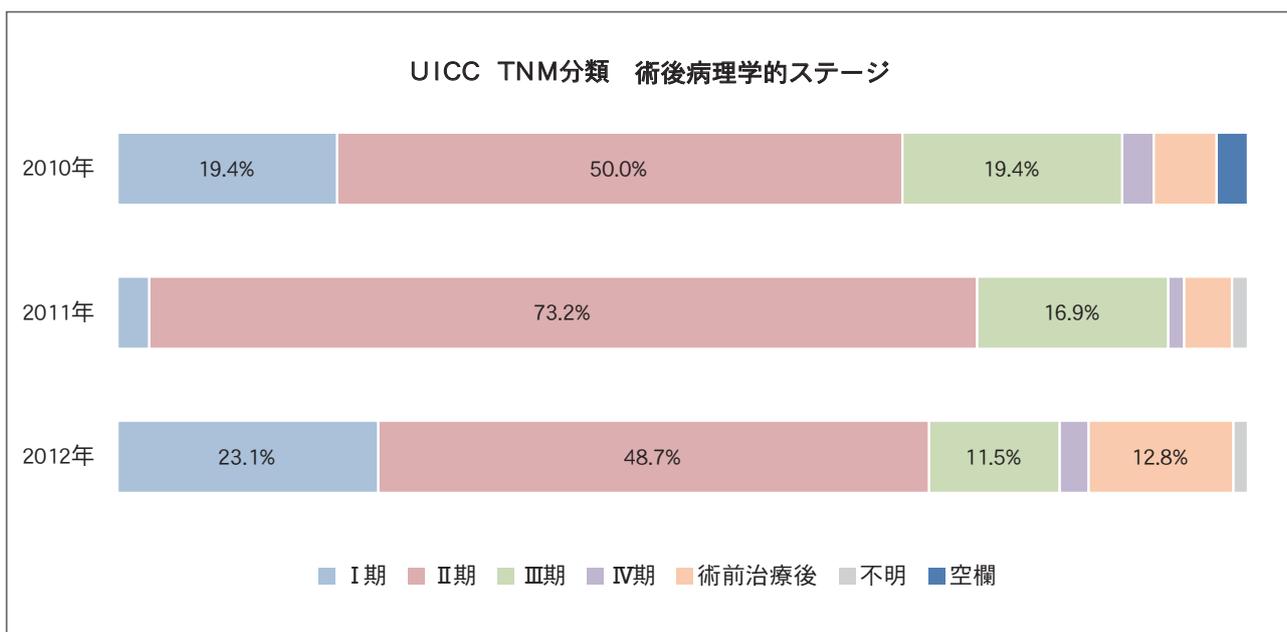
5. UICC TNM分類 治療前ステージ

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	空欄	合計
2010年	0.0%	16.7%	57.8%	15.6%	8.3%	--	0.0%	180
2011年	0.0%	4.1%	70.7%	8.9%	11.8%	4.5%	0.0%	246
2012年	0.0%	48.6%	19.7%	9.5%	19.4%	2.8%	0.0%	284



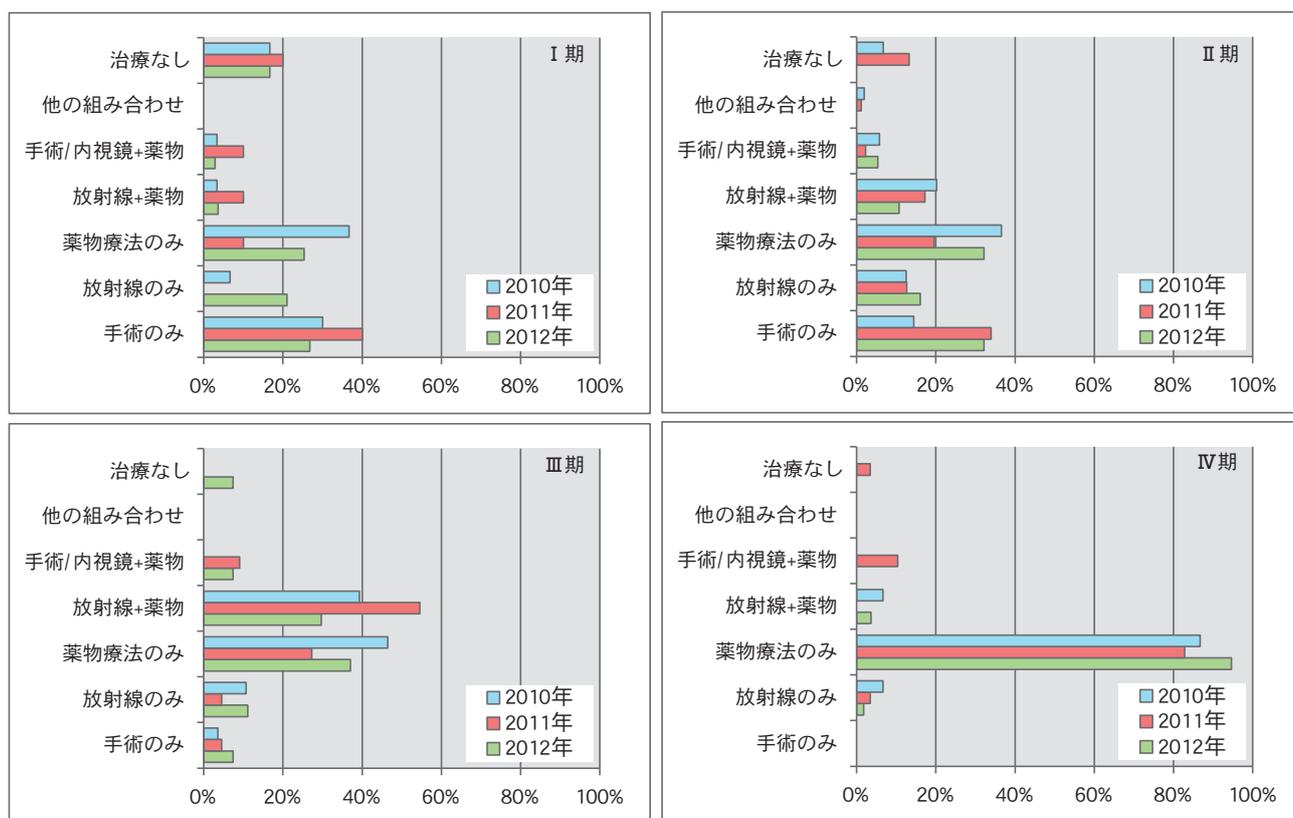
6. UICC TNM分類 術後病理学的ステージ (原発巣切除)

	0期	I期	II期	III期	IV期	術前治療後	不明	空欄	合計
2010年	0.0%	19.4%	50.0%	19.4%	--	--	0.0%	--	36
2011年	0.0%	--	73.2%	16.9%	--	--	--	0.0%	71
2012年	0.0%	23.1%	48.7%	11.5%	--	12.8%	--	0.0%	78



前立腺

7. UICC TNM分類 治療前ステージ別 年別 治療方法割合



付記 UICC-TNM分類 広く世界で使用される腫瘍の広がり分類 (他の臓器でも使用される)

T分類・N分類・M分類の3つの要素でステージ (進展度) を決定し治療に利用

ステージを決定する要素	略称
原発腫瘍の広がり	T分類
所属リンパ節への転移	N分類
遠隔臓器・組織への転移	M分類

UICC-TNM分類 (抜粋)			ステージ分類		
T分類	N分類	M分類	UICC6版	UICC7版	
T1	T1a	0	0	I	I
	T1b	0	0	I	I
	T1c	0	0	II	I
T2	T2a	0	0	II	I
	T2b	0	0	II	II
T3	T3a	0	0	III	III
	T3b	0	0	III	III
T4				IV	IV
M1				IV	IV

※ T1cは前立腺がん検診などで使用される前立腺腫瘍マーカー (PSA) の高値の際に実施された前立腺生検において初めて診断された場合の分類。2012年より7版のステージを使用、多くの患者がここに含まれる。

がん診療連携拠点病院 施設情報

(4施設)

2013年1月1日時点

国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」に2013年掲載されたもので、情報は2013年3月に厚生労働省に提出された「新規指定・指定更新推薦書」または「現状報告書」をもとに作成されております。

病院名	国立大学法人 高知大学医学部附属病院
住所	〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
ホームページ	http://www.kochi-ms.ac.jp/~hsptl/index.html

●診療案内	
診療科	胃腸内科、肝・胆膵内科、内分泌・糖尿病内科、腎臓・膠原病内科、血液内科、呼吸器・感染症内科、循環器内科、神経内科、老年病科、小児科、精神科、子どものこころ診療部、皮膚科、放射線科、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、小児外科、臨床腫瘍・内視鏡外科、形成外科、麻酔科(麻酔・疼痛)、産科婦人科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、泌尿器科、歯科口腔外科、総合診療部
病床数	605床(うち療養病床0床、一般病床570床、特別療養環境室としている病床39床)
◆患者数等	
年間新入院患者数(平成23年1月1日～12月31日)* ¹	10,379人
年間新入院がん患者数(平成23年1月1日～12月31日)* ²	3,730人
年間新入院患者数に占めるがん患者の割合	35.9%
年間外来がん患者延数(平成23年1月1日～12月31日)* ³	44,545人
年間院内死亡がん患者数(平成23年1月1日～12月31日)	217人
新入院患者数(原則、平成24年4月1日～7月31日までの新入院患者。)* ¹	3,525人
新入院がん患者数* ²	1,265人
(入院患者数に占めるがん患者の割合)	35.9%
うち肺がん患者数(ICD-10コード C34\$)* ⁴	187人
うち胃がん患者数(ICD-10コード C16\$)	78人
うち大腸がん(直腸がんを含む)患者数(ICD-10コード C18\$, C19, C20)	54人
うち肝臓がん患者数(ICD-10コード C22\$)	135人
うち乳がん患者数(ICD-10コード C50\$)	90人
<p>※1 新入院患者数は、例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は2件とする。入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も計上する。</p> <p>※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断されたものについて計上する。</p> <p>※3 年間外来がん患者延数は、当年の新来、再来がん患者及び往診、巡回診療、健康診断、人間ドック等を行い、診療録の作成又は記載の追加を行ったがん患者の延数とする。同一患者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成又は記載の追加を行った場合、それぞれの外来患者として計上する。</p> <p>※4 「\$」は当該項目の下位分類を全て含むという意味である。</p>	

病院名	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター
住所	〒781-8555 高知県高知市池2125-1
ホームページ	http://www2.khsc.or.jp/

●診療案内	
診療科	総合診療科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、代謝・内分泌科、血液内科・輸血科、腎臓内科・膠原病科、小児科、皮膚科、感染症科、ペインクリニック科、腫瘍内科、緩和ケア内科、地域医療科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、乳腺・甲状腺外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科・一般外科、整形外科、泌尿器科、移植外科、小児外科、形成外科、救命救急科、集中治療科、麻酔科、リハビリテーション科、産科、婦人科、生殖医療科、放射線療法科、放射線科、検査診断科、画像診断科、病理診断科
病床数	676床（うち療養病床0床、一般病床546床、特別療養環境室としている病床30床）
◆患者数等	
年間新入院患者数（平成23年1月1日～12月31日）※ ¹	13,249人
年間新入院がん患者数（平成23年1月1日～12月31日）※ ²	4,168人
年間新入院患者数に占めるがん患者の割合	31.5%
年間外来がん患者延数（平成23年1月1日～12月31日）※ ³	48,178人
年間院内死亡がん患者数（平成23年1月1日～12月31日）	136人
新入院患者数（原則、平成24年4月1日～7月31日までの新入院患者。）※ ¹	4,377人
新入院がん患者数※ ²	1,375人
（入院患者数に占めるがん患者の割合）	31.4%
うち肺がん患者数（ICD-10コード C34\$）※ ⁴	202人
うち胃がん患者数（ICD-10コード C16\$）	200人
うち大腸がん（直腸がんを含む）患者数（ICD-10コード C18\$, C19, C20）	216人
うち肝臓がん患者数（ICD-10コード C22\$）	110人
うち乳がん患者数（ICD-10コード C50\$）	44人
<p>※¹ 新入院患者数は、例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は2件とする。入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も計上する。</p> <p>※² がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断されたものについて計上する。</p> <p>※³ 年間外来がん患者延数は、当年の新来、再来がん患者及び往診、巡回診療、健康診断、人間ドック等を行い、診療録の作成又は記載の追加を行ったがん患者の延数とする。同一患者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成又は記載の追加を行った場合、それぞれの外来患者として計上する。</p> <p>※⁴ 「\$」は当該項目の下位分類を全て含むという意味である。</p>	

病院名	日本赤十字社 高知赤十字病院
住所	〒780-8562 高知県高知市新本町2-13-51
ホームページ	http://kochi-med.jrc.or.jp/

●診療案内	
診療科	糖尿病腎臓内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、外科、呼吸器外科、脳神経外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、小児科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、放射線科、精神科、病理診断部
病床数	468床（うち療養病床0床、一般病床456床、特別療養環境室としている病床121床）
◆患者数等	
年間新入院患者数（平成23年1月1日～12月31日）※ ¹	8,153人
年間新入院がん患者数（平成23年1月1日～12月31日）※ ²	1,417人
年間新入院患者数に占めるがん患者の割合	17.4%
年間外来がん患者延数（平成23年1月1日～12月31日）※ ³	26,562人
年間院内死亡がん患者数（平成23年1月1日～12月31日）	111人
新入院患者数（原則、平成24年4月1日～7月31日までの新入院患者。）※ ¹	2,933人
新入院がん患者数※ ²	518人
（入院患者数に占めるがん患者の割合）	17.7%
うち肺がん患者数（ICD-10コード C34\$）※ ⁴	60人
うち胃がん患者数（ICD-10コード C16\$）	85人
うち大腸がん（直腸がんを含む）患者数（ICD-10コード C18\$, C19, C20）	79人
うち肝臓がん患者数（ICD-10コード C22\$）	17人
うち乳がん患者数（ICD-10コード C50\$）	15人
<p>※¹ 新入院患者数は、例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は2件とする。入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も計上する。</p> <p>※² がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断されたものについて計上する。</p> <p>※³ 年間外来がん患者延数は、当年の新来、再来がん患者及び往診、巡回診療、健康診断、人間ドック等を行い、診療録の作成又は記載の追加を行ったがん患者の延数とする。同一患者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成又は記載の追加を行った場合、それぞれの外来患者として計上する。</p> <p>※⁴ 「\$」は当該項目の下位分類を全て含むという意味である。</p>	

病院名	高知県立幡多けんみん病院
住所	〒788-0785 高知県宿毛市山奈町芳奈3-1
ホームページ	http://www.pref.kochi.lg.jp/hata/

●診療案内	
診療科	内科、消化器科、循環器科、外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、小児科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、麻酔科、放射線科、女性外来、臨床検査科
病床数	355床（うち療養病床0床、一般病床324床、特別療養環境室としている病床0床）
◆患者数等	
年間新入院患者数（平成23年1月1日～12月31日）※ ¹	5,888人
年間新入院がん患者数（平成23年1月1日～12月31日）※ ²	1,100人
年間新入院患者数に占めるがん患者の割合	18.7%
年間外来がん患者延数（平成23年1月1日～12月31日）※ ³	5,293人
年間院内死亡がん患者数（平成23年1月1日～12月31日）	124人
新入院患者数（原則、平成24年4月1日～7月31日までの新入院患者。）※ ¹	2,167人
新入院がん患者数※ ²	372人
（入院患者数に占めるがん患者の割合）	17.2%
うち肺がん患者数（ICD-10コード C34\$）※ ⁴	9人
うち胃がん患者数（ICD-10コード C16\$）	67人
うち大腸がん（直腸がんを含む）患者数（ICD-10コード C18\$, C19, C20）	65人
うち肝臓がん患者数（ICD-10コード C22\$）	38人
うち乳がん患者数（ICD-10コード C50\$）	25人
<p>※¹ 新入院患者数は、例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は2件とする。入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も計上する。</p> <p>※² がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断されたものについて計上する。</p> <p>※³ 年間外来がん患者延数は、当年の新来、再来がん患者及び往診、巡回診療、健康診断、人間ドック等を行い、診療録の作成又は記載の追加を行ったがん患者の延数とする。同一患者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成又は記載の追加を行った場合、それぞれの外来患者として計上する。</p> <p>※⁴ 「\$」は当該項目の下位分類を全て含むという意味である。</p>	

平成26年度 高知がん診療連携協議会

◇協議会委員◇

都道府県がん診療連携拠点病院	国立大学法人 高知大学医学部附属病院病院長 がん治療センター部長 がん治療センター副部長 小児思春期医学 准教授 医療学 予防医学・地域医療学分野 教授	横山 彰仁 小林 道也 岡本 健 久川 浩章 安田 誠史
地域がん診療連携拠点病院	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター がんセンター長 日本赤十字社 高知赤十字病院 副院長 高知県立幡多けんみん病院 副院長	森田 荘二郎 浜口 伸正 上岡 教人
がん診療連携推進病院	国立病院機構高知病院 呼吸器外科医長	日野 弘之
二次医療圏においてがん診療の中核となる病院	高知県立あき総合病院 外科部長	直木 一朗

◇がん登録部会 がん登録担当者◇

高知県	健康政策部健康対策課課長補佐 健康政策部健康対策課チーフ 健康政策部健康対策課主任	山崎 千夏 永野 万紀 今西 典子
都道府県がん診療連携拠点病院		
国立大学法人 高知大学医学部附属病院	診療情報管理副室長 診療情報管理室	井沖 浩美 下元 憲明 野口 真理 宮本 千帆 松本久美子 和氣利志朗 武市 加奈
地域がん診療連携拠点病院		
高知県・高知市病院企業団立高知医療センター	ITセンター主事	北村 愛 野村真由美
日本赤十字社 高知赤十字病院	医療情報管理課長 医療情報管理課	四國 久幸 森本 裕紀 森田 博
高知県立幡多けんみん病院	診療情報管理室主査	加藤 真一
がん診療連携推進病院		
国立病院機構高知病院	企画課	山下 美紀 武政 理恵
二次医療圏においてがん診療の中核となる病院		
高知県立あき総合病院	診療情報管理室主事	伊與田麻由

**がん診療連携拠点病院データによる
高知県のがん登録集計 2010-2012**

発行日：2015年2月

発行：高知がん診療連携協議会がん登録部会

事務局 高知大学医学部附属病院 診療情報管理室
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮
電話 088-880-2571

